

支出項目

政務活動費

研修・会議費

No.1

4 月	年度 日	内容	支出額 (円)	累計額 (円)
5	12~ 13	全国地方議会サミット2022	14,720	14,720
7	14	ローカル・マニフェストで地域から日本を変える	9,780	24,500
7	24	第18回全国地方議員交流研修会	18,160	42,660
8	17~ 18	全国災害ボランティア議員連盟研修会	50,490	93,150
10	12~ 14	第84回全国都市問題会議	291,200	384,350
10~ 11	31~ 1	いざ、鎌倉！現地で学ぶ「鎌倉殿の13策」	7,260	391,610
11	9~ 10	トップランナーに学ぶ 受賞事例研修会	14,440	406,050
		研修・会議費合計	406,050	

政務活動報告書

令和5年3月27日

茅ヶ崎市議会議員
加藤 大嗣 様

(会派名) ちがさき自民クラブ

(氏名) 岡崎 進

政務活動の結果は、次のとおりでした。

日 時	令和4年5月12日 (オンライン参加) 令和4年5月13日 (早稲田大学大隈記念講堂)
目的 地 (研 修 地)	全国地方議会サミット2022 (早稲田大学大隈記念講堂)

政務活動の結果 (別紙のとおり)



全国地方議会サミット 2022 早稲田大学大隈講堂

令和 4 年 5 月 12 日 13 日開催 報告書

ちがさき自民クラブ

岡崎進

主催者挨拶：北川正恭早稲田大学名誉教授

「チーム議会で取り組む自己決定・自己責任の地方自治」
監視機能の議会ではなく、住民意見の代弁者である民意の反映機関期間が議会であり、政策提案、議案提案、決定権を含んだ役割があることを認識して、地域を変えていくのは議会から首長執行部がそれを受け国を変えていけるようなことが出来れば、本当に民主政治の立場を議会の力として出来ていく。

2 日間、学んだことを実践に。「よし、ウチはこれをやろう」。それを私たちは応援します。

特別講演（動画出演）：牧島かれん デジタル大臣

デジタル庁には 700 名ほどの職員が勤務しており、その職員に向けて、ミッション、2 つのビジョン、4 つのバリューが定められている。

ミッションは「誰一人取り残されない、人に優しいデジタル化を」と掲げ、2 つのビジョンは「Government as a Service」と「Government as a Startup」、そしてデジタル庁の職員はどのような価値観を持ち、日々どのように行動をすべきかをバリューとして明記している。それらは「この国に暮らす一人ひとりのために」「常に目的を問い」「あらゆる立場を超えて」「成果への挑戦を続けます」である。「成果」とは過度な完璧さを求めず、スピーディに実行し、フィードバックを得ることで組織として成長することを目指すとしている。現在の中心的な取組みとして、デジタル臨時行政調査会やデジタル田園都市国家構想がある。

▼講演

『住民自治と多様な議員で構成された活力ある議会』

寺沢 さゆり 長野県長野市議会 議長／全国市議会議長会 副会長

議会改革の中で、女性議員の割合も増えてきた中で、政治分野における男女共同参画の推進に関する法律第 9 条の規定に基づき、長野市議会としてハラスメント全体について対応していくべきという考えから、現在、要綱を検討している。またデジタル化の部分では、平成 28 年 2 月より新庁舎建設による本会議場新設に併せて、採決システムを導入したことにより、本会議場で実施する採決は、原則としてシステムを用いている。

そして平成 30 年より常任委員会のインターネット中継を開始し、平成 31 年には議会活動にタブレットを導入し、令和 4 年 5 月には市民と議会の意見交換会をオンラインで開催し、委員会のオンライン開催を検討している。

伊波 篤 沖縄県読谷村議会 議長／全国町村議会議長会 理事

平成 18 年米軍基地の返還とその跡地開発でのインフラ整備や住宅地も開発されたこともあり、女性の割合はまだ少ないものの多様性のある議会となっている。今後若い世代や子

育て中の助成などこれまで以上に多様な人材を議会に招くための環境整備として、議員報酬や議員定数の議論を何度も繰り返し行い、議員報酬額の算定も議論もし、議員報酬の増額の方向性見出せたが、コロナ禍にこれを実施することは難しいこと、議員定数についても人口増は見込まれるものの現在の人数維持が望ましいが、削減の意見もあり結論に至らなかった。

しかし、2年半の議論で、議会活動と政治活動の分岐点や議員個人が行う調査研究はどこまで議員活動なのかなどいわゆるグレーゾーン仕分けに苦労した。

▽セッション

清水 克士 滋賀県大津市議会 議会局長

「なぜオンラインが必要なのかー大津市議会の経験から」

大津市役所では新型コロナウイルス感染症の庁内クラスター発生によって、令和2年4月25日から5月6日までの間、本庁舎への立ち入りが制限され、災害により本会議が開催できなくなる可能性を改めて認識した。

大津市役所で実際に起った事例を鑑みれば、本会議開催不可能となり全議案が専決処分されるという最悪の事態も想定範囲内となる。地方自治における二元代表制の一翼を担う地方議会としては、非常事態にも議会の権能を十分に発揮できるオンライン本会議の実現が強く求められる。大津市議会では、オンライン模擬本会議を開催し、議長は議場、他議員は自宅等でリモート議会とした。地方自治法第115条で「公開」が定められており

、「公開」とは傍聴と会議録の閲覧を認める趣旨であるため、会議の状況を直接見聞することと定義づけられる「傍聴」のために、傍聴者・記者は議場参加できることとした。

オンライン本会議実現のためには法改正が必要であるが、法改正実現までに考えられる対策として、議案採決以外の日程であればオンライン本会議を導入。議事日程は一般質問の場合、「本会議」から法100条12項に基づく「(仮称)一般質問協議会」に移行させてオンライン開催にすることが考えられる。

岩崎 弘宜 茨城県取手市議会 事務局次長

「こんなこともできる！オンラインー取手市議会デモテックへの取り組みから」

Democracy (民主主義) × Technology (技術) = DemoTech (デモテック) チャレンジスタート

未来に向かっての挑戦！デモテック⇒ICTを活用して新しい民主主義の創造ということで、オンラインにAI字幕を、そして「議会の中に寿民がいる、住民の中に議会がある」という理念より、AI&寿民が議事録を作成する取組をしています。

また360度カメラによる委員会映像配信や、現地視察配信の取組や議事録視覚化システムの導入や妊娠・出産・疾病・介護・看護・育児等の事由でオンラインで委員会出席を可能にした。

議論は場所ではなく⇒有事のためにオンライン委員会開催可能に備える。

またICT活用をきっかけに・・・今までの議会改革では切り拓けていなかった場所・人にも可能性が！

実践紹介 中野 智基 愛知県知立市議会 議長

「議会オンラインへの対応と市民とつながる・深まる議会改革」

オンライン導入

1 委員会条例の改正「開催の特例(オンライン会議)の追加」。議会BCPを補完する

「知立市議会 新型コロナウイルス感染症対応指針」を策定し、委員会オンライン開催のフローを明示し、「知立市議会情報通信機器運用基準」を策定。情報通信端末タブレットを議員へ貸与、ペーパーレス会議システム、グループウェアの導入。

2 議会防災訓練と災害対策会議をオンライン開催

3 令和3年3月3月定例会より公式の会議で電子通信機器の運用を開始。議員、理事者共にペーパーレス会議が可能になる。1年間は試行期間として、紙資料も配布することとなった

4 令和3年12月 オンライン本会議の実現必要となる地方自治法改正を求める意見書を関係機関へ提出し、オンライン委員会リハーサルの実施

市民と繋がる・深まる議会改革

議会のICT化・オンライン対応は、単なるペーパーレスに留まらず、タブレットやクラウドなどの活用により情報収集・処理・伝達・共有・広報公聴などの能力向上につながり、議会活動活発化の可能性は議会内にて概ね認識できた

【議会ICT化とオンライン対応の結果】

①紙資料が減少し、紙代・印刷代・管理労務費が削減された。②業務の迅速性の向上と、調査労力や時間が節約された。③データ携行により、市民への説明の際にも有効に活用できた。④オンラインで会議を開くことができるため、時間・場所を問わなくなった。⑤コロナ禍においてもオンラインを活用することにより、「活動を止めない」「議論を止めない」「公開を止めない」議会構築が可能となった。今後は、市議会モニター制度等を活用し、更なる改善と調整を実施していく。

2日目 5月13日(金)

▼講演

廣瀬 克哉 (法政大学総長)

『コロナ2年の経験をどう活かしていくか!?』

新型コロナウイルス感染拡大という本物の危機を実体験したことによって、学ぶべきものを学び取れたかという視点が非常に大切である。このウイルスはもう大丈夫だとしても、危機対応という課題がなくなったわけではない。この2年間に危機管理策が前進していない組織は、将来においても危機管理ができていない。本当に集まれなくなったとしても機能が機能するための準備ができていくことが大切である。オンライン会議の具体化の不要であるとか、いち早く「平常復帰」の感覚でコロナ危機を過去のものとしていく落とし穴にはまってはならない。今わかっている法制度上の課題には今のうちに取り組んでおく必要がある。例えば「出席」の明確化である。物理的にそこにいることの意味しているのか、オンラインでも出席と言えるのか、どんな条件が満たされれば「出席」といえるのかが重要になってくる。一般法人法での理事会など既にオンライン「出席」を認めている法律は存在する。衆議院憲法審査会の議論の取りまとめとして、議院自律権の範囲で、オンライン出席を実現することが法的にも可能であり、地方議会については、議会の自律権を条例や会議規則で定めることができるとした。

きる○は
ても、議
かが真に
検討はも
を、とい
樂觀視し

うちに取
の概念の
だけを意

出張旅費計算書

適用	全国地方議会サミット2022 に参加するため 東京都新宿区戸塚町	会派	ちがさき自民クラブ			
期間	令和4年5月13日 1日	出張者 氏名	岡崎 進			
経路	日数	泊数	キロ数	運賃(円)	急行料金(円)	金額(円)
茅ヶ崎 — 東京 JR東海道本線	1	—	64.3	990	—	990
東京 — 大手町 東京メトロ銀座線				170	—	170
大手町 — 早稲田 東京メトロ東西線		—	64.3	170	—	170
早稲田 — 大手町 東京メトロ東西線				990	—	990
大手町 — 東京 東京メトロ銀座線						
東京 — 茅ヶ崎 JR東海道本線						
計	1	—	128.6	2,320	0	2,320
	日数	単価(円)		金額(円)		
日当	1日			2,400	2,400	
研修参加費	1			10,000	10,000	
合計	¥14,720 × 1人			¥14,720		

領収データ - 全国地方議会サミット2022 (5/12-13@早稲田大学大隈講堂)

発行日	2022年5月2日
宛名	ちがさき自民クラブ 岡崎進
合計	¥10,000
但し	全国地方議会サミット参加代金
注文日	2022年4月19日
注文番号	16132070
主催者	ローカル・マニフェスト推進連盟事務局 (ローカル・マニフェスト推進連盟)
イベント名	全国地方議会サミット2022 (5/12-13@早稲田大学大隈講堂)



印刷する

編集モード

全国地方議会 サミット 2022

2022 05.12日 ▶ 05.13日

早稲田大学大隈講堂 会場先着
オンライン配信併用 300名

多様な
議員、参画、
政策形成

デジタルで
広がる・つながる・深まる
議会改革

いま地方議会には、新型コロナウイルス感染症をはじめ多様な課題の解決へ向けて、多様な意見の集約と政策への反映が求められています。デジタル活用においては、委員会のオンライン開催に関する全国市議会議長会による参考条例が示されるなど、その機運が高まっています。また、政治分野における男女共同参画の推進も求められるなど、議会の多様性の確保への体制の整備も迫られています。専門家や当事者の議論に加え、各地の議会から事例紹介も交えて大いに提起、発信します。是非ご参加ください。

Day1 <5/12 (木)> 13:00-18:00
登壇者紹介



チーム議会で取り組む
「自己決定・自己責任」の地方自治
元三重県知事
北川 正恭



一人一人の多様な幸せを実現する
デジタル庁のミッション
元デジタル大臣
牧島 かれん



住民自治と多様な議員で
構成された活かある議会
早稲田大学社会学部教授
江藤 俊昭



各地からオンライン登壇も！
オンライン議会の展開事例
月刊「ガバサンス」編集主幹
千葉 茂明



多様な議員の一般質問を
議会の政策形成へ
法政大学法学部教授
土山 希美枝

Day2 <5/13 (金)> 10:00-16:00
登壇者紹介



コロナ2年の経験を
どう活かしていくか！
法政大学総長
廣瀬 克哉



地方議会における
男女共同参画の推進と実践
日本大学法学部教授
林 紀行



速報！議会改革度調査
ランキングとトレンド
早稲田大学マニフェスト研究所事務局長
中村 健



Z世代にも届く！
デジタルを活用した広報・広聴
株式会社POTETO Media代表
古井 康介



いまこそ問われる！
地方自治と議会の役割
元総務大臣
片山 善博



Z世代代表
小林 真子



Z世代代表
吉永 一輝

※登壇者やプログラム、開催方法等は変更になる可能性があります。

詳細プログラム
開催概要は裏面へ

主催・共催

ローカル・マニフェスト推進連盟

Manifesto Awards

早稲田大学
マニフェスト研究所

後援

全国市議会議長会
National Association of Chairpersons of City Councils

全国町村議会議長会
National Association Chairpersons of Town and Village Assemblies

第 **1** 日目

2022.05.12 **THU** 13:00~18:00

- 13:00-13:10 オープニング
- 13:10-13:30 チーム議会で取り組む「自己決定・自己責任」の地方自治
北川 正恭 早稲田大学名誉教授/元三重県知事
- 13:30-13:45 一人一人の多様な幸せを実現する デジタル庁のミッション
※動画出演 牧島 かれん デジタル大臣
- 13:50-15:00 住民自治と多様な議員で構成された活力ある議会
江藤 俊昭 大正大学社会共生物学部教授
寺沢 さゆり 長野県長野市議会 議長/全国市議会議長会 副会長
伊波 篤 沖縄県読谷村議会 議長/全国町村議会議長会 理事
- 15:10-16:45 各地からオンライン登壇も!オンライン議会の展開事例 **各地からオンライン登壇予定**
千葉 茂明 月刊「ガバナンス」編集主幹/コーディネーター
清水 克士 滋賀県大津市議会 議会局長 「なぜオンラインが必要なのか—大津市議会の経験から」
岩崎 弘宜 茨城県取手市議会事務局次長 「こんなこともできる!オンライン—取手市議会デモテックへの取り組みから」
実践紹介 中野 智基 愛知県知立市議会 議長 「議会オンラインへの対応と市民とつながる・深まる議会改革」
実践紹介 松尾 徳晴 福岡県春日市議会 議長 米丸 貴浩 福岡県春日市議会議員/広報広聴委員長
「市民とつながる—「議員と語ろう 議会報告会」オンライン」
- 16:55-17:55 多様な議員の一般質問を議会の政策形成へ **各地からオンライン登壇予定**
土山希美枝 法政大学法学部教授/コーディネーター
実践紹介 西原 浩 北海道別海町議会 議長 「一般質問検討会議から議会の政策形成へ」
実践紹介 青野 敏 北海道鷹栖町議会議員 片山 兵衛 北海道鷹栖町議会議員
「一般質問でまいたタネを市民と共有し議会の政策形成へつなげる」
- 17:55-18:00 クロージング

2022.05.13 **FRI** 10:00~16:00

第 **2** 日目

- 10:00-10:05 オープニング
- 10:05-10:50 コロナ2年の経験をどう活かしていくか!?
廣瀬 克哉 法政大学総長
- 11:00-12:00 地方議会における男女共同参画の推進と実践 **各地からオンライン登壇予定**
林 紀行 日本大学法学部教授/コーディネーター
実践紹介 永野 裕子 東京都豊島区議会議員 出産議員ネットワーク呼びかけ人 「出産・子育てと議員活動の両立両立支援のための体制整備」
実践紹介 高橋たい子 宮城県柴田町議会 議長 平間奈緒美 宮城県柴田町議会 副議長
「正副女性議長が取り組む柴田町議会の男女共同参画の推進」
- 昼休憩
- 13:00-13:45 速報!議会改革度調査ランキングとトレンド
中村 健 早稲田大学マニフェスト研究所事務局長
- 13:45-14:45 Z世代にも届く! デジタルを活用した広報・広聴
古井 康介 株式会社POTETO Media 代表
小林 真子 ZEXT 代表
吉永 一輝 ZEXT 副代表
- 14:55-15:40 いまこそ問われる! 地方自治と議会の役割
片山 善博 大正大学社会共生物学部 教授/元総務大臣
- 15:40-16:00 サミット宣言・クロージング

政務活動報告書

令和5年3月27日

茅ヶ崎市議会議長
加藤 大嗣 様

(会派名) ちがさき自民クラブ

(氏名) 岡崎 進

政務活動の結果は、次のとおりでした。

日 時	令和4年7月14日
視 察 事 項 (研 修 地)	ローカル・マニフェストで地域から日本を変える (早稲田大学 井深大 記念ホール)

政務活動の結果 (別紙のとおり)



マニフェスト大賞 2022 キックオフ研修会
「ローカル・マニフェストで地域から日本を変える」
令和4年7月14日開催報告書

ちがさき自民クラブ
岡崎進

基調講演

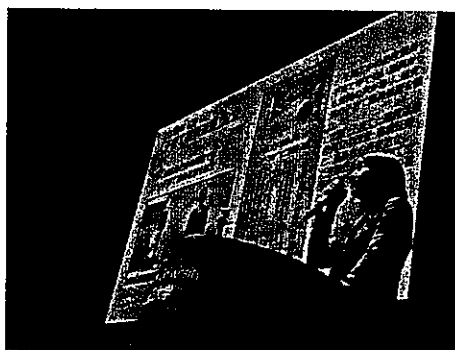
北川 正恭氏（早稲田大学名誉教授／元三重県知事）

「マニフェスト 20 年～ローカル・マニフェストで地域から日本を変える」
ローカルマニフェスト運動が始まって 20 年、全国の地方議会で、議員提案条例を創ること等で様々な政策が実現に繋がっている。
国がやらないから地方自治の現場から変えていく、全国の地方議会の先進事例を TTP 徹底的にパクって日本を良い方向へ、善政競争をしていくべき。

実践発表

久坂くにえ氏（出産議員ネットワーク・子育て議員連盟、鎌倉市議会議員）

「出産・子育てが政治参画の障壁とならない、議会の法規・環境整備の取り組み」
出産議員ネットワークの設立 2017 年に第 1 回懇話会をはじめ、連携を深めて出産議員等からの相談窓口を開設、そして、女性議員だけの問題ではない、子育て議員連盟を設立した。
そしていろいろな調査をし、環境整備を行っていくために全国三議長会へ標準会議規則改正等の要望をし、全国の地方議会のルール変更にもつなげ、また政治分野における男女共同参画推進法の改正にもつながり、マニフェスト大賞グランプリを受賞した。



実践発表

岩崎 弘宜氏（取手市議会事務局 次長）

「ICT・AI・住民・議会による新しい民主主義を推進」

議会改革度ランキング 2 年連続総合 1 位

～Democracy（民主主義）

）×Technology（技術）

＝DemoTech（デモテック）

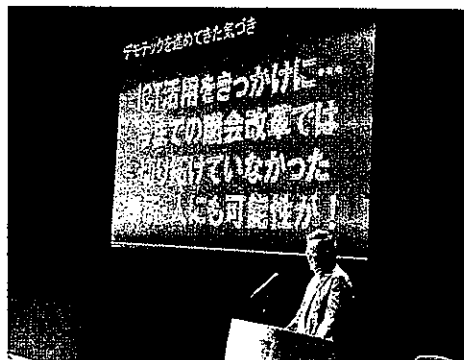
チャレンジスタート！を合言葉に、デモテック ICT

を活用して新しい民主主義の創造を

オンラインに AI 字幕を AI と住民に議事録

を作成してもらう。などいろいろな取り組み

をしている。



実践発表

戸塚正人氏（町田市議会 議長）

「『議案のカルテ』はインターネット上の議会報告会—“議案ごと”にカルテを制作・公開」

議案カルテは、インターネット上の議会報告会である。議会報告会での説明内容をインターネット上に掲載

「議案のカルテ」の特徴は…

1. 議案の審議・審査状況を、“会議ごと”ではなく、“議案ごと”にまとめる→複数日にまたがる審議・審査を一括で見られる
 2. 本会議での委員長報告を掲載→委員会での議論がくわしく分かる
 3. ホームページに素早く公開→いち早く市民に届けられる
- HPの閲覧数を増やせるよう、より議会に関心を持って頂けるようにしていきたい。

実践発表

黒川 勝氏（横浜市会議員、よこはま自民党）

「マニフェストを起点とした新たな市民との政策形成」

よこはま自民党による市民参加型プラットフォーム Decidim による新たな市民との政策形成横浜みらい創生プラットフォーム、議会・会派としての Decidim の活用は日本初めてということで、素晴らしいと感じましたが、実際には、政令市等でないとそこまでの活用や予算的なことも難しいなというのが実感でした。

実践発表

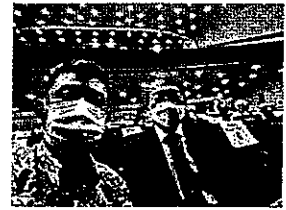
高橋 英昭氏（横須賀市議会議員、よこすか未来会議）

「会派マニフェストと政策形成のPDCA サイクル推進」

2019年統一地方選挙後に、2つの会派を解散合併する形で発足・新人3名を加え13名の会派に、その後1名が抜け現在は12名の会派・チームとして政策実現に取り組む政策集団として、活動の中心に会派マニフェストを据える・2019年、2020年マニフェスト大賞 優秀マニフェスト推進を受賞
市民広聴会（未来会議）で政策の種を収集して、会派で議論をし政策にして、政策実現のために代表質疑や一般質問で質疑していく、会議もコロナの関係でオンラインになったが、若年層の参加率がアップしたり、夜間開催などで仕事終わりにも対応が出来るようになった。

いろいろな努力をされているのが、伝わってきて、これはどうやったらマネできるのか、これはどうすれば取り入れられるのか検討していきたい。

近くにいた人とは遠くなったが 遠くの人とは近くなったが、人が参集できないことの影響は地域社会のさまざまな組織に影を落としている。制度上必置義務のない組織にとって存続の危機となっており、地域社会にける横のつながりが危機に瀕している。母校の大学総長として一緒に写真を撮らせて頂きました。



▽講演・セッション

『地方議会における男女共同参画の推進と実践』

林 紀行 日本大学法学部 教授／コーディネーター

実践紹介 永野 裕子 東京都豊島区議会議員／出産議員ネットワーク発起人・代表

「出産・子育てと議員活動の両立両立支援のための体制整備」

2021年マニフェスト大賞グランプリ受賞しましたが、出産議員ネットワークは、戦後の議員在任中出産事例約160件、該当者が約120～140名と判明2017年に第1回の懇話会を開催し、「土絵自分野における男女共同参画推進法案」成立等の要望活動、出産議員等からの相談窓口開設、「子育て議員連盟」設立。標準会議規則改正の要望、ジェンダーに配慮した議会のための行動計画を策定。

環境整備にあたって ● 妊娠・出産・育児に関する法規や環境整備は、母体と子の命や人権に係わる問題であり、代替手段もきかないため、最低限守られるべき 共通ルールを設ける必要がある ● 議員自身が議会制度を理解し、論拠を持ってルールメイキングすることに積極的になる ● 議会の自律権は尊重されるべきであるが、議会内の政治的な構図や パワーバランス等が影響することもあり、命や人権に関わる問題について部分社会の法理では不都合が生じる場合もあるため、第三者 による調整を視野に置く必要があるのではないか 一般に当事者が増えれば当事者のための制度や環境整備が進む傾向もあるが、現状、子育て世代の女性議員は圧倒的マイノリティであり、議会 という特殊な部分社会の力学の中では取組が困難なこともある。

以上の内容より、先進事例をとり言えれる努力をしつつも、この2年缶のコロナ禍による影響によって、なかなか進まなかったデジタル化が一気に進みだした部分もあり茅ヶ崎市議会として、オンライン報告会等の一部改革は進んだものの、いまだタブレットの導入もされていない状況を鑑み、後発議会として無駄なく進んでいけるよう検討していく必要性を感じました。

出張旅費計算書

適用	ローカル・マニフェストで地域から日本を変える	会派	ちがさき自民クラブ			
期間	令和4年7月14日 1日	出張者氏名	岡崎進			
経路	日数	泊数	キロ数	運賃(円)	急行料金(円)	金額(円)
茅ヶ崎 — 新橋 JR東海道本線	1	—	56.7	990	—	990
新橋 — 日本橋 東京メトロ銀座線			2.3	200	—	200
日本橋 — 早稲田 東京メトロ東西線			5.9		—	
早稲田 — 日本橋 東京メトロ東西線			5.9	200	—	200
日本橋 — 新橋 東京メトロ銀座線			2.3		—	
新橋 — 茅ヶ崎 JR東海道本線			56.7	990	—	990
計			1	—	129.8	2,380
	日数		単価(円)		金額(円)	
日当	1		2,400		2,400	
研修参加費	1		5,000		5,000	
合計	¥9,780 ×		1人		¥9,780	

7.14 (木)

13:00-17:00

早稲田大学
井深大記念ホール

マニフェスト大賞 2022 キックオフ研修会

「ローカル・マニフェストで 地域から日本を変える」

本研修会では、昨年マニフェスト大賞グランプリを受賞した出産議員ネットワーク・子育て議員連盟をはじめ、首長部門のマニフェスト推進賞受賞の壬生 照玄・長野県高森町長、ローカル・マニフェストを軸にした改革を進めてきた会派、そして議会改革のトップランナーたちが登壇し、「ローカル・マニフェストで地域から日本を変える」をテーマに多めに発信・提起します。

▲ 基調講演 ▲ 「マニフェスト 20 年～ローカル・マニフェストで地域から日本を変える～」
早稲田大学名誉教授/元三重県知事 北川 正恭

▲ 実践発表 昨年グランプリ ▲ 「出産・子育てが政治参画の障壁とならない議会の法規・環境整備の取り組み」
出産議員ネットワーク・子育て議員連盟

▲ 実践発表 コーカルマニフェスト ▲ 「住民との“約束”をチェックする一町長マニフェストの評価・検証～」
長野県高森町長 壬生 照玄

● 「マニフェストを起点とした新たな市民との政策形成」 よこはま自民党

● 「会派マニフェストと政策形成の PDCA サイクル推進」 よこすか未来会議

● 「会派マニフェストの作成意義と効果について」 公明党岡山市議団

▲ 実践発表 議会改革 ▲ 「ICT・AI・住民・議会による新しい民主主義を推進」 取手市議会

● 「『議案のカルテ』はインターネット上の議会報告会
— “議案ごと” にカルテを制作・公開」 町田市議会

▲ 実践発表 シティズンシップ ▲ 「公開討論会の拡がりとしティズンシップ推進 公益社団法人日本青年会議所ベビーファースト委員会
～取り組みの成果と展望～」 委員長 新田 洋太郎

※ プログラム、開催手法等は変更になる場合があります。予めご了承ください。

日時 2022年7月14日(木) 午後1時から5時まで
場所 早稲田大学 井深大 記念ホール (オンライン併用)
定員 会場は先着200名様
参加費 議員:5,000円 議員以外:2,000円 いずれも税込
主催 マニフェスト大賞実行委員会、ローカル・マニフェスト推進連盟
共催 早稲田大学マニフェスト研究所
申込み ウェブサイトより申込(締切7月11日) <http://www.local-manifesto.jp/gikaigiin/>
問合せ マニフェスト大賞事務局 山内、亀井 mani@maniken.jp / 03-6709-6739

✓ 下記のQRコードを読み取ると
ウェブサイトへリンクします



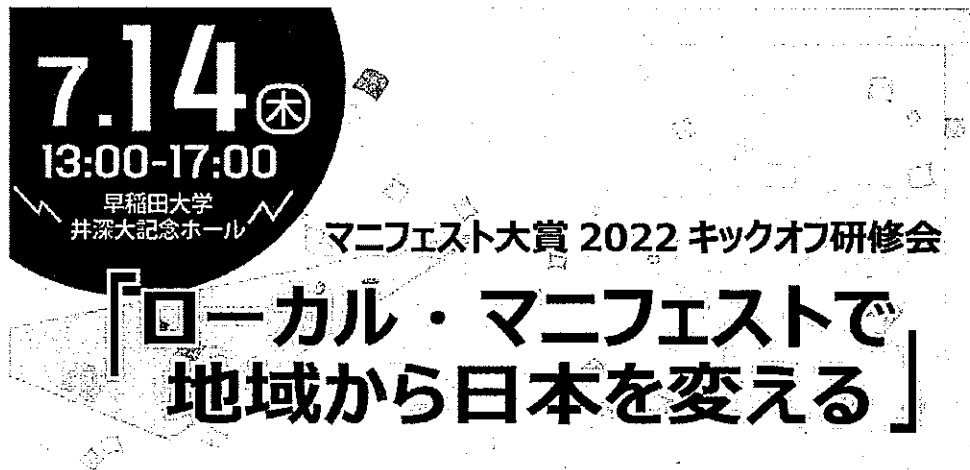
マニフェスト大賞

7/1 から応募開始

マニフェスト大賞



Manifesto Awards



JUL 14 2022/7/14マニフェスト大賞2022キックオフ研修会 (@早稲田大学&オンライン配信) 「ローカル・マニフェストで地域から日本を変える」

イベントは終了です (木) 13:00 | 新宿区西早稲田1丁目20-14 | By ローカル・マニフェスト推進連盟

社会貢献/地域活性 地域活性 社会課題 社会貢献 まちづくり 地方創生

マニフェスト大賞2022キックオフ研修会 (2022年7月14日@早稲田大学&オンライン配信)

「ローカル・マニフェストで地域から日本を変える」を開催します！

● オンライン配信/後日レコーディング動画限定※配信あり

※事前にお申し込みいただいた方には後日、当日の研修会を収録したレコーディング動画を配信します。当日の参加が難しい場合でも、ご関心ありましたら是非お申し込みのご検討をよろしくお願いいたします。

マニフェスト大賞は、地方自治体の議会、首長、市民等による、地域の民主主義向上に資する優れた取り組みを互いに競い合うように進める「善政競争」を目指しています。

本研修会では、昨年マニフェスト大賞グランプリを受賞した出席議員ネットワーク・子育て議員連盟をはじめ、首長部門のマニフェスト推進賞受賞の壬生 昭玄・長野県高森町長、ローカル・マニフェストを軸にした改革を進めてきた会派、そして議会改革のトップランナーたちが登壇し、「ローカル・マニフェストで地域から日本を変える」をテーマに多岐に発信・提起します。是非、ご参加ください。

【開催概要】

日時：7月14日(木) 午後1時から5時まで
会場：早稲田大学 井深大 記念ホール
オンライン配信あり
会場定員：先着200名様
参加費：議員5,000円、一般2,000円(市民・議会事務局職員など)
申込期日：7月10日(日)~12日(火)まで
主催：マニフェスト大賞実行委員会、ローカル・マニフェスト推進連盟
共催：早稲田大学マニフェスト研究所

【注意事項】

- ※1 開催手法、プログラムは変更になる場合もあります。予めご了承ください。
- ※2 ご参加方法等のご案内をメッセージで開催日前日までに送付します。
- ※3 登壇者資料がある場合のみ、事前または事後にデータにて提供します。
- ※4 領収書についてはこちらをご確認ください>領収書にアクセスする
- ※5 チケットのキャンセル返金手続きについてはこちらをご確認ください>主催者にチケットのキャンセルを依頼する
- ※6 主に行政機関等、Peatix対応が困難で請求書による支払い対応が必要な場合は、下記より請求書発行の手続きをお願い致します。>請求書払いで申込みをする(決済の関係で事後のご対応になる場合もご相談ください。)

【プログラム】(2022年7月11日時点予定:順序変更・一部登壇者変更あり)

13:00-13:25 基調講演
北川 正恭氏(早稲田大学名誉教授/元三重県知事)
「マニフェスト20年~ローカル・マニフェストで地域から日本を変える」

13:25-13:50 実践発表 (15分発表+10分質疑応答)
久坂くにえ氏(出席議員ネットワーク・子育て議員連盟、鎌倉市議会議員)

🎫 チケット

【会場】議員
¥5,000 受付終了

【会場】一般(市民、自治体職員等)
¥2,000 受付終了

【オンライン】議員
¥5,000 受付終了

【オンライン】一般(市民、自治体職員等)
¥2,000 受付終了

【ご招待、取材等】※要事前連絡
満席

📅 日時

2022/07/14 (木)
13:00 - 17:00 JST
カレンダーに追加

📍 場所

井深大記念ホール
新宿区西早稲田1丁目20-14 日本
地図を見る

「出産・子育てが政治参画の障壁とならない、議会の法規・環境整備の取り組み」

14:00-14:15 実践発表

岩崎 弘宜氏 (取手市議会事務局 次長)

「ICT・AI・住民・議会による新しい民主主義を推進」

14:15-14:30 実践発表

戸塚正人氏 (町田市議会 議長)

「『議案のカルテ』はインターネット上の議会報告会―“議案ごと”にカルテを制作・公開」

14:30-14:45 質疑応答 (岩崎様、戸塚様への質疑応答)

14:55-15:20 実践発表 (15分発表+10分質疑応答)

壬生 照玄氏 (長野県高森町長) (※オンライン登壇→会場登壇)

「住民との“約束”をチェックする―町長マニフェストの評価・検証―」

15:20-15:35 実践発表

黒川 勝氏 (横浜市会議員、よこはま自民党)

「マニフェストを起点とした新たな市民との政策形成」

15:35-15:50 実践発表

高橋 英昭氏 (横須賀市議会議員、よこすか未来会議)

「会派マニフェストと政策形成のPDCAサイクル推進」

15:50-16:05 質疑応答 (黒川様、高橋様への質疑応答)

16:05-16:20 実践発表

林 敏宏氏 (岡山市議会議員、公明党岡山市議団) (※オンライン登壇→会場登壇)

「会派マニフェストの作成意義と効果について」

16:20-16:35 実践発表

新田 洋太郎氏 (公益社団法人日本青年会議所ベビーファースト委員会 委員長)

「公開討論会の拡がりとしティズンシップ推進～取り組みの成果と展望～」

16:35-16:50 質疑応答 (林様、新田様への質疑応答)

16:50-17:00 総括/クロージング マニフェスト大賞応募開始にむけて

北川 正恭 氏 (早稲田大学名誉教授/元三重県知事)

草間 剛 氏 (マニフェスト大賞実行委員長/横浜市会議員)

～終了後～ 会場にて名刺交換タイムを設けます。

以上

問い合わせ

ローカル・マニフェスト推進連盟事務局

(早稲田大学マニフェスト研究所内/担当: 亀井・山内)

〒162-0041

東京都新宿区早稲田鶴巻町517 ドラード早稲田402

メールアドレス: mani@maniken.jp

電話: 03-6709-6739 ファックス: 03-6709-6752

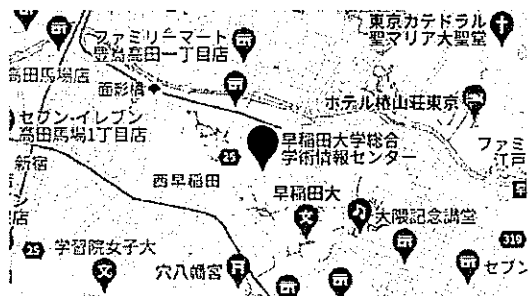


主催者

ローカル・マニフェスト推進連盟

フォロワー数: 1,211

フォロー



茅ヶ崎市茅ヶ崎 1-1-1 茅ヶ崎市議会事務局 鈴木様

一般社団法人 マニフェスト研究会

領収書の送付につきまして

拝啓

お世話になっております。日頃は、マニフェスト大賞ならびにローカル・マニフェスト推進連盟の活動へご理解・ご協力賜り、ありがとうございます。

この度は、マニフェスト大賞 2022 キックオフ研修会「ローカル・マニフェストで地域から日本を変える」へお申し込みいただきまして、誠にありがとうございました。本日、参加費納入の領収書を送付します。

ご多用のところお手数をおかけし恐れ入りますが、ご査収の程何卒宜しくお願い致します。ご不明な点等ございましたら、下記問合せ先までご連絡ください。

敬具

【お問合せ】

ローカル・マニフェスト推進連盟事務局（早稲田大学マニフェスト研究所内）
担当：亀井、山内 TEL: 03-6709-6739 / Mail: mani@maniken.jp

領 収 書

ちがさき自民クラブ様¥ 5000-

但：マニフェスト大賞 2022 キックオフ研修会「ローカル・マニフェストで地域から日本を変える」参加費として

領収日：2022年7月21日

No.2022-341-01

ローカル・マニフェスト推進連盟事務局
一般社団法人マニフェスト研究会
代表理事 中村 健

〒162-0041
東京都新宿区早稲田鶴巻町 517 番地1
ドロード早稲田402
電話：03-6709-6739



政務活動報告書

令和5年3月29日

茅ヶ崎市議会
議長 加藤 大嗣 様

(会派名) ちがさき自民クラブ
(氏名) 広瀬忠夫

政務活動の結果は、次のとおりでした。

日 時	令和4年7月24日
調査事項 (研修地)	第18回全国地方議員交流研修会 (サンピアンかわさき)
政務活動の結果 (別紙のとおり)	



研修会報告書

令和5年3月

広瀬忠夫

第18回全国地方議員交流研修会出席

「日本の食と農の未来を考える」

日時 2022年7月24日 午前9時30分

会場 サンピアン川崎

講師 東京大学院教授 鈴木宣弘

基調講演 日本農業と食料を守るために 鈴木宣弘

各界からの報告

- ① 安全、安心な食べものをまもるために
- ② 大分、福岡、連携した取り組み「おおいたいただきます
- ③ 学校給食の現場から
- ④ 農福連携で食育を担う
- ⑤ 中山間地に根を張って前に進む

集会アピール

「次の世代に確かな食と農を引き継ぐために」

出張旅費計算書

適用	第18回全国地方議員 交流研修会	会派	ちがさき自民クラブ			
期間	令和4年7月24日 1日間	出張者 氏名	広瀬 忠夫			
経路	日数	泊数	キロ数	運賃(円)	急行料金(円)	金額(円)
茅ヶ崎 — 川崎 JR東海道本線	1	—	40.4	770	—	770
川崎駅 — 教育文化会館前 川崎市営バス			—	210	—	210
教育文化会館前 — 川崎駅 川崎市営バス			—	210	—	210
川崎 — 茅ヶ崎 JR東海道本線			40.4	770	—	770
計	1	—	80.8	1,960	0	1,960
	日数		単価(円)		金額(円)	
日当	1		1,200		1,200	
研修参加費	1		15,000		15,000	
合計	¥18,160 ×		1人		¥18,160	

領 収 証

2022年7月21日

茅ヶ崎市議会 ちがさき自民クラブ
広瀬 忠夫 様
一金 ¥15000 円

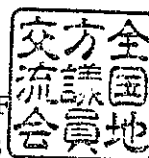
第18回全国地方議員交流研修会 (7/23~24) 参加費
として

上記まさに領収しました。

第18回全国地方議員交流研修会実行委員会
事務局 会計担当

〒212-0011 川崎市幸区幸町4の8 青柳ビル2F

TEL 090(8588)8307 FAX 044(541)2066



...

...

政務活動報告書

令和5年3月27日

茅ヶ崎市議会議長
加藤 大嗣 様

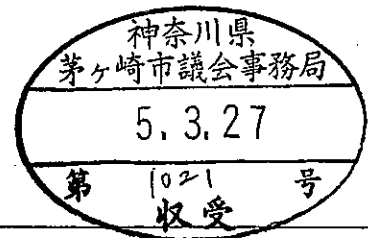
(会派名) ちがさき自民クラブ

(氏名) 岡崎 進

政務活動の結果は、次のとおりでした。

日 時	令和4年8月17日(水)、18日(木)
視察事項 (研修地)	全国災害ボランティア議員連盟研修会 (とゞ兵)

政務活動の結果(別紙のとおり)



ちがさき自民クラブ
岡崎進

豊岡で学ぼう

中貝宗治市前豊岡市長

私たちは、2004年台風23号災害をどのように闘ったのかトップがなすべきこと

町全体でおもてなしをする、共存共栄、コロナ禍で情報発信して、コロナ後に効いてくる

水はけが悪く、2004年台風23号で浸水、堤防のそばに村があった、高低差が少ないので水があふれ、町は泥とごみに囲まれた。そして海もごみでいっぱいになった。

3万6000トンのごみを10月20日の被災して、翌年5月30日に最後のごみを見送った。

7か月以上がかかった。

ごみの分別が大変、どの段階で分別をするのか、最初の段階で分別をしないと処理が大変、注射器等何が入っているかわからない。

ボランティアは勇気を与える存在

バラがいっぱいあって、心は明るくなった。寝てしまうと体力も体温も下がって死んでしまう、だから歌って一夜を過ごしたバスの上、バラの花や坂本九の上を向いてあることが命を救った。

生き残った住民の数が復興につながる

防災無線は1回目は緊迫感のある声で、2回目は冷静に伝わるように流す。

人間の努力を超える自然の脅威を

しかし人は逃げない→正常化の偏見

だからこそ、空振りでも出しますよってメッセージを市民に伝えておくこと

どう生き延びて、その後の市民のために

消防長と市長の判断

1925年、兵庫県北但馬地震や阪神大震災等の過去の災害を教訓として、火災のリスクが高い場合、大地震が発生した場合、職員が緊急参集するときに、役所への参集途中で市民より倒壊等で助けを求められたときに、振り払ってでも緊急参集する、火災による被害の大きさを考え



◎ 豊岡市
は豊岡市の被害と対応（豊岡市台風23号災害報告...

ると、目の前で助けを求める人より優先せざるを得ない状況になるので、日々の研修や訓練の中で徹底していないと災害の被害を拡大させる可能性が大きいことから、その徹底が必要であると話がありました。

心が持つか??

判断の遅れは命取りになる。この判断は市長なり、消防長の普段からのコミュニケーションの徹底がないと、守れない。

酒井明子福井大学名誉教授、日本災害看護学会理事長

被災者への中長期的支援

避難所生活の環境改善

避難生活の長期化を見据えた対応の在り方

官民連携して、住まいの確保

減災と復興の過去、現在、未来

18日2日目

室崎益輝 ひょうごボランティアプラザ所長、議連顧問

復興計画に携わってきた、教訓に学ぶ事が多い。

阪神大震災でも、先に命を助けようとしたが、消火活動を先にしていればもっと被災者は減った。

1948でも消火活動を優先、避難と救助のタイミングを問う考えるのか??

丹波の復興計画の教訓は

市民活動や地域活動などから学ぶ

(1)4つの「生」と4つの「自」

生命、生活、生業、生態 自由、自立、自尊、自治

(2)シチズンシップ、パートナーシップ、リーダーシップ

市民が主体の協働社会をつくること

(3)事前減災、共同参画、自律連携、共存共栄、環境共生

自律、共生、減災、復興、参画が大切なキーワード

あんこと皮の関係

あんこが美味しければ皮は薄くてよい、あんこ窯づけければ皮を厚くする関係

行政、企業、市民団体、コミュニティが程よい関係にないと難しい。

復興の概念

復興は衰えていたものが「再び勢いを取り戻すこと、新たなきっぽうを見出すこと

復活や再生あるいは復旧とどう違うのか??

災害復興は災害によって失ったものを取り戻すとともに、災害が明らかにした社会の歪みを直すこと

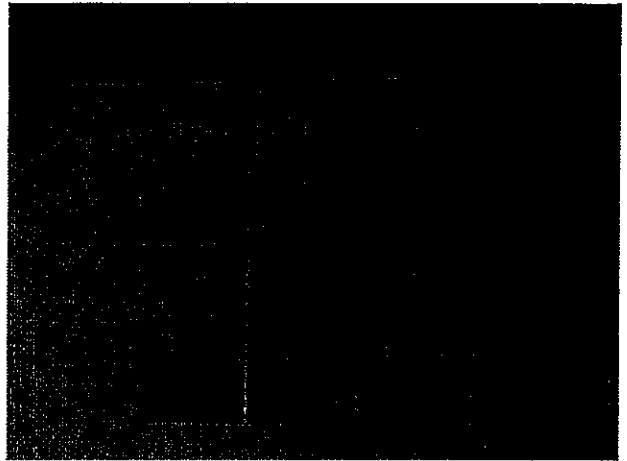
創造的復興の「創造」とは??

豊かな社会を目指す復興

自律、安全、変革が災害復興の基本目標

減災の8段階活用とその足し算

あきらめる、祈る、避ける、逃げる、反らす、和らげる、耐える、退ける。



自主防災組織は1975年ごろから、コミュニティではなく防災に特化したコミュニティ

コミュニティ防災 ブリッジ型防災住んでいるだけではなく働いている人も

都市防災構造化や防災まちづくりなどから、総合治水、避難確保から 自主防災組織や自己責任論など

連携協働個別対応、公衆衛生、多元防御の方向

総合的に多面的に暮らしの総体を考える視点も、忘れてはならない。安全性を優先すべきではあるが、それだけで町のあり方や暮らしの総体を決めてはならない、ということである。私たちが生きていくうえでは、日々の暮らしや生きがいなどが、欠かせない。日常性と非日常性を融合させる視点が、欠かせないのである。自然と人間が共生する、歴史や伝統を受け継ぐ、といった視点から、復興のあり方を探らなければならないのである。防災だけを考え安全を金科玉条にした結果、日常性や被災者の気持ちを無視することがあってはならない、といえよう。あくまでも「防災は隠し味」でなければならないのである。最後に、安全な暮らしは、ハードウェアだけでなく、ソフトウェア、ヒューマンウェアからなる「減災的な総合芸術」であることを、改めて強調しておきたい。過去の知見と世界の叢知を集め、総合的に「やわらかで緊張感のある減災社会」を目指して欲しい。

事前復興とは、こういうもの

アメコミセキュリティの考え方

減災文化の創造

法律に沿って復興と、思いの先の復興、 神戸の復興

とサンタクルーズの復興

城之崎の復興別荘文化があった



出張旅費計算書

適用	全国災害ボランティア議員 連盟研修会	会派	ちがさき自民クラブ			
期間	令和4年8月17日～8月18日 2日	出張者 氏名	岡崎進			
経路	日数	泊数	キロ数	運賃(円)	急行料金(指定席)(円)	金額(円)
茅ヶ崎 — 小田原 JR東海道本線	1	1	25.3	9,790	—	15,140
小田原 — 京都 新幹線ひかり			429.7		5,350	
京都 — 福知山 JRきのさき			88.5		—	
福知山 — 豊岡 JRこうのとり			59.9		—	
豊岡 — 福知山 JR山陰本線		—	9,790	59.9	—	15,140
福知山 — 京都 はしだて				88.5	—	
京都 — 小田原 新幹線ひかり				429.7	5,350	
小田原 — 茅ヶ崎 JR東海道本線				25.3	—	
計	1	—	1206.8	19,580	10,700	30,280
	日数		単価(円)	金額(円)		
日当	2		2,400	4,800		
研修参加費	1		7,000	7,000		
宿泊先	1 (豊岡 グリーンホテルモーリス)		6,410	6,410		
夕食	1		2,000	2,000		
合計	¥50,490 ×		1人	¥50,490		


領収書

ちかま 自民 クラブ"様

★7,000円

ただし、研修会参加費として、上記正に領収いたしました。

令和4年8月17日

全国災害ボランティア議員連盟
会計 
福井県越前市中印町18-14

Rakuten Travel

領収書

ちがさき自民クラブ 様

伝票番号 : 131805285

お名前	: おかざき すすむ
金額	: 6,410 円
宿泊施設	: 豊岡グリーンホテルモーリス
宿泊施設住所	: 兵庫県豊岡市千代田町6-32
チェックイン日	: 22-08-17
チェックアウト日	: 22-08-18
人数	: 大人1名様
予約番号	: RYa0f1mk4h
但し	: 宿泊代金としてクレジットカード決済
発行日	: 2022/08/04

ご利用ありがとうございました。

楽天グループ株式会社
〒158-0094 東京都世田谷区
楽天クリムゾンハウス
<https://travel.rakuten.co.jp/>



政務活動報告書

令和5年3月29日

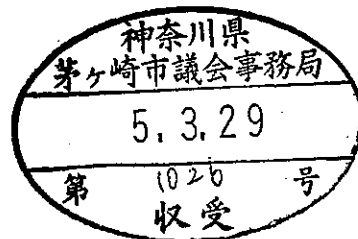
茅ヶ崎市議会
議長 加藤 大嗣 様

(会派名) ちがさき自民クラブ
(氏名) 小島 勝己
岡崎進
広瀬忠夫
水本定弘

政務活動の結果は、次のとおりでした。

日 時	令和4年10月13日、10月14日
調査事項 (研修地)	第84回全国都市問題会議 個性を活かして「選ばれる」まちづくり～何度も訪れたい場所になるために～ (出島メッセ長崎)

政務活動の結果 (別紙のとおり)



第 84 回 全国都市問題会議、出席報告書 令和 4 年 10 月

報告者 ちがさき自民クラブ 広瀬忠夫

日時 令和 4 年 10 月 13 日、14 日

開催市 長崎県 長崎市

「テーマ」個性を活かして選ばれるまちづく

- ・基調講演 民間主導の地域創生の重要性 ジャパネット社長
高田旭人
- ・主報告 長崎市の魅力あるまちづくり 長崎市長
田上富久
- ・一般報告 地域との関わり方・関係人口 島根県立大学教授
田中輝美
- ・一般報告 ビジョンを活かしたまちづくり 山形市長
佐藤孝弘
- ・一般報告 「交流の産業化」を支える景観まちづくり
デザインセンター理事 高尾忠志

14 日 パネルディスカッション 東京都立大学教授 大杉 寛

「選ばれる」まちづくりに向けた都市自治体のアプローチ

令和4年度 ちがさき自民クラブ 視察報告書

1 参加委員

小島 勝己、岡崎 進、広瀬 忠夫、水本 定弘

2 視察日時

令和4年10月13日から14日

3 視察先

長崎県長崎市 「第84回全国都市問題会議」

4 視察事項

(テーマ) 個性を活かして選ばれるまちづくり

5 視察概要

		(作成 小島 勝己)
内 容	全国市長会主催による第84回全国都市問題会議が開催された。会議は基調講演、主報告、パネルディスカッション、等を通して「また訪れたいくなる」魅力ある地域づくりのための基本的な考え方やその取り組みの方向性について事例を交えて提起され、論議された。	
・事業概要		
・効果、推移		
・課題		
・今後の方向性	1, 概要 今回の会議においては、地域外の人が継続的に・訪れることの意義について着目し、地域外の人との多様な関りがもたらすもの、更には継続的・定期的に訪れてもらう機会や仕組みづくり、「何度もおとずれたい」場所になるために、等の具体的な取組事例の主報告、一般報告がされた。その主な要点は、 ①都市は、歴史や文化、景観、風土など、固有の地域資源を持つ。地域外の人何度も訪れたい場所となるためには、その地域固有の地域資源を最大限活用した、魅力あるまちづくりが必要である事。 ②交流・参加の機会をつくることにより、地域外の人との交流から、地域住民が気づいてない新たな地域の魅力・価値が発見につながっていく。従って、今後、「地域での交流・参加の形態」が、地域側のニーズと地域外の人とのかかわりを結び付ける存在となり、多くの場合、若者が主役になるであろう事。 ③働き方の多様化によって、自分の好きな場所に住み、好きな場所で働くなど、新たなライフスタイルに移行することが増加傾向にあり、新しい働き方は定着しつつある。そのためテレワーク環境等が整備されている都市が新しいライフスタイルを実現する場所として選ばれていくだろう。 等であった。	

2, 報告事例 長崎市の取組

各市の特性を踏まえた取組事例の中で、印象に残った長崎市の「魅力あるまちづくり」について報告する。

長崎市では、自分たちが住んでいる、町の価値を見直すことで、人を引き付ける魅力と、新しい時代の多様な都市のあり方が見えてくるかもしれないという事から、価値を4つの視点で見つめなおした事例報告がされた。

「我が町の価値とは？」

(1)「価値を見つける」という視点では、身近な特別な価値が見えてなかったものでも、見る角度を変えることで、新たな価値が見つかることもある。

日常生活の1ページに過ぎなかったものが産業革命遺産として見直した時、世界的価値が見えてきた代表例.....端島炭坑（軍艦島）備考欄参照方

(2)「価値に気づく」 *「長崎さるく」は、団体旅行から個人旅行に変わってきた時代に新しい観光スタイルに対応させるために始めた全国街歩きの先駆けとなった取組である。身近にありながらも、気づいてない価値に気づくことで町への愛着に繋がる。 *（「さるく」とは「ぶらぶら歩く」という方言）

(3)「価値を磨く」価値を磨く取り組みは全国的にも例がない景観専門監制度の導入である。景観は、見て楽しいだけでなく、快適であったり、場所の個性を「感じたりと暮らす人にも、訪れる人にも大切なものであり、歴史や文化を持つ長崎の町を5つの「まちなか」に分け、それぞれのエリアが持つ、魅力を顕在化させて、市民、企業が一緒になって賑わいをつくっていく。


(4)「価値をうみだす」新たに創造することにより、価値を生み出すという視点である。(株) ジャパネットホールディングスが進めている「長崎スタジアムプロジェクト」がある。これまで長崎になかった新たな魅力を生み出すプロジェクトにより日常にもっと楽しさを生み出し、交流人口の増加や、雇用の場も創出することで長崎の問題解決に繋がる。2024年の開場を目指し、官民一体となった取り組みを進めている。

長崎市では4つの視点で価値を見つめ直しておりその町の価値に気づく契機には「交流」が欠かせないとしている。交流の中で価値を見つめ直し、その先にある「都会でもなく、田舎でもない長崎ライフ」が豊かになることで、町で暮らす人にも、訪れる人にも魅力的なまちとなり、持続可能な地域社会の構築に繋がるものと考えている。

考 察
・本市との比較
・本市への事業導入の可能性
・今後の検討内容

長崎のまちは約450年前の開港から現在まで、港を通じて 交流することで栄え、国内外の様々な文化を取り入れ、交流によって歴史と文化のあるまちに発展させ日本の歴史、経済発展に大きな影響を与えた。その長崎の町が、「昭和の観光都市」から民間主導による、調和のとれた、「選ばれる21世紀の交流都市」への進化を目指して交流の幅を広げようとしている。

茅ヶ崎市は総合計画で、将来の都市像の実現に向け、3年間で取り組むべき重点戦略として実施計画2025に位置付けている。人々が交流し賑わいがある「活力

	<p>あふれる」まちづくりについては、行政だから出来ること、民間だから出来ることを官民一体となって取り組み、多様な市民の参加による検討、あるいは、市外の人々の参加、他市と一層の交流などが重要になってくることとおもわれます。このような取り組みが事業の盛り上がりには欠かせないこととおもわれますが、</p> <p>茅ヶ崎市だけの取組では限界を感じます。広い交流の中から、活力あるまちづくりにつながり、地域全体の幸せが実現されることと考えます。</p>
<p>備 考</p>	<p>明治日本の産業革命遺産石炭産業 瑞島炭坑（軍艦島）</p> 

6 参考資料

(1) 第84回 全国都市問題会議資料

出張旅費計算書

適用	第84回全国都市問題会議 出島メッセ長崎 長崎市	出張者 氏名	ちがさき自民クラブ 小島 勝己 岡崎 進 広瀬 忠夫 水本 定弘			
期間	令和4年10月12日から 10月14日まで 3日間	随行者 氏名				
経路	日数	泊数	キロ数	運賃(円)	急行料金(円)	金額(円)
茅ヶ崎—横浜 (JR東海道本線)	1	1	29.8	510	0	510
横浜 — 羽田空港第1第2ターミナル (京急本線)			20.7	370	0	370
羽田空港—長崎空港 (ANA661)			981	15,070	0	15,070
長崎空港 — 長崎駅前ターミナル (長崎空港線バス)			40	1,000	0	1,000
会場 (出島メッセ長崎)	1	1		0	0	0
長崎駅前ターミナル — 長崎空港 (長崎空港線バス)	1		40	1,000	0	1,000
長崎空港 — 羽田空港 (ANA666)			981	14,770	0	14,770
羽田空港第1第2ターミナル — 横浜 (京急本線)			20.7	370	0	370
横浜 — 茅ヶ崎 (JR東海道本線)			29.8	510	0	510
計	3	2	2,143	33,600		33,600
	日 数		単 価(円)		金 額(円)	
日 当		3		2,400		7,200
宿泊料		2		9,000		18,000
夕食代		2		2,000		4,000
大会参加費		1		10,000		10,000
合 計	¥72,800 ×		4 人			291,200

宿泊先 ホテルH2長崎(朝食付き)

航空機代 スーパーバリュー-55Kを利用

※ホテルから会場まで徒歩行程で1.5kmを超えないため、路面電車代の計上なし

No.1365

会議参加費 領収書

ちがさき自民クラブ 様

金 10,000円

但、「第84回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

10.13

令和4年 月 日



第84回全国都市問題会議実行委員会 田上 富久
会長

No.1366

会議参加費 領収書

ちがほまき民7777 様

金 10,000円

但、「第84回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

10.13

令和4年 月 日



第84回全国都市問題会議実行委員会 田上 富久
会長

No.1367

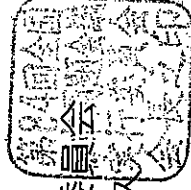
会議参加費 領収書

ちがさき自民クラブ 様

金 10,000円

但、「第84回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。
10.13

令和4年 月 日



第84回全国都市問題会議実行委員会
会長 田上 富久

No.1589

会議参加費 領収書

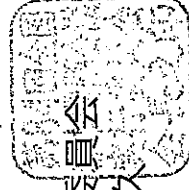
ちかしま自民クラブ 様

金 10,000円

但、「第84回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

L. 10.13

令和4年 月 日



第84回全国都市問題会議実行委員会
会長 田上 富久

■お振込

日付	受付番号	お振込先口座	取引金額 (振込手数料)	お受取人名	ご依頼人名	受付状況
2022.09.13	2220913023984	みずほ銀行 十二号支店 普通 9515241	40,000 円 (0 円)	カ) J T B	チガサキジミンク ラブ	取引成立

領収書

WEB 9234703deb-3S1G0-163010-0-1100
表示日 2022年08月23日(火)

ちがさき自民クラブ (小島・岡崎・水本・広瀬分) 様

金額	¥119,360- (税込) クレジット支払い (消費税10%対象 ¥119,360- (税込))
但し	運賃および税金・料金等
航空券発行日	2022年08月09日(火)

上記、正に領収いたしました。

本紙は電子的に保持している領収データを画面表示したものです。

航空券番号	1010328179455011	1010328179455022		
	1010328179456013	1010328179456024		
	1010328179457015	1010328179457026		
	1010328179458010	1010328179458021		
照会番号	JE8FR2	QECTRF	1E9VFZ	YE7JTW



A STAR ALLIANCE MEMBER

全日本空輸株式会社 All Nippon Airways Co.,Ltd.

航空券明細

WEB 9234703deb-3SIG0-163010-0-1100

表示日 2022年08月23日(火)

ご搭乗者名/照会番号

オカザキ ススム様 (JE8FR2)

搭乗日	便名	区間	クラス	運賃	運賃額等(税込)	運賃適用基準日
2022年10月12日(水)	ANA661	東京(羽田) - 長崎	普通席	スーパーバリュース K	¥15,070-	2022年08月09日(火)
2022年10月14日(金)	ANA666	長崎 - 東京(羽田)	普通席	スーパーバリュース K	¥14,770-	2022年08月09日(火)

合計金額

¥29,840-

ご搭乗者名/照会番号

コジマ カツミ様 (QECTRF)

搭乗日	便名	区間	クラス	運賃	運賃額等(税込)	運賃適用基準日
2022年10月12日(水)	ANA661	東京(羽田) - 長崎	普通席	スーパーバリュース K	¥15,070-	2022年08月09日(火)
2022年10月14日(金)	ANA666	長崎 - 東京(羽田)	普通席	スーパーバリュース K	¥14,770-	2022年08月09日(火)

合計金額

¥29,840-

ご搭乗者名/照会番号

ヒロセ タダオ様 (1E9VFZ)

搭乗日	便名	区間	クラス	運賃	運賃額等(税込)	運賃適用基準日
2022年10月12日(水)	ANA661	東京(羽田) - 長崎	普通席	スーパーバリュース K	¥15,070-	2022年08月09日(火)
2022年10月14日(金)	ANA666	長崎 - 東京(羽田)	普通席	スーパーバリュース K	¥14,770-	2022年08月09日(火)

合計金額

¥29,840-

ご搭乗者名/照会番号

ミズモト サダヒロ様 (YE7JTW)

搭乗日	便名	区間	クラス	運賃	運賃額等(税込)	運賃適用基準日
2022年10月12日(水)	ANA661	東京(羽田) - 長崎	普通席	スーパーバリュース K	¥15,070-	2022年08月09日(火)
2022年10月14日(金)	ANA666	長崎 - 東京(羽田)	普通席	スーパーバリュース K	¥14,770-	2022年08月09日(火)

合計金額

¥29,840-

領収書

ちがさき自民クラブ 岡崎分 様

伝票番号 : 131816438

お名前 : こじま かつみ
金額 : 18,000 円
宿泊施設 : hotel H2 ホテルエイチツー長崎
宿泊施設住所 : 長崎県長崎市築町5-11
チェックイン日 : 22-10-12
チェックアウト日 : 22-10-14
人数 : 大人1名様
予約番号 : RYa0f1nh4n_2
但し : 宿泊代金としてクレジットカード決済
発行日 : 2022/08/04

ご利用ありがとうございました。

楽天グループ株式会社
〒158-0094 東京都世田谷区
楽天クリムゾンハウス
<https://travelrakuten.co.jp/>



Rakuten Travel

領収書

ちがさき自民クラブ 岡崎進分 様

伝票番号：131816438

お名前 : おかざき すずむ
金額 : 18,000 円
宿泊施設 : hotel H2 ホテルエイチツー長崎
宿泊施設住所 : 長崎県長崎市築町5-11
チェックイン日 : 22-10-12
チェックアウト日 : 22-10-14
人数 : 大人1名様
予約番号 : RYa0f1nh4n_1
但し : 宿泊代金としてクレジットカード決済
発行日 : 2022/08/04

ご利用ありがとうございました。

楽天グループ株式会社

〒158-0094 東京都世田谷区

楽天クリムゾンハウス

<https://travel.rakuten.co.jp/>

領収書

ちがさき自民クラブ 広瀬忠夫分 様

伝票番号：131816438

お名前 : ひろせ ただお
金額 : 18,000 円
宿泊施設 : hotel H2 ホテルエイチツー長崎
宿泊施設住所 : 長崎県長崎市築町5-11
チェックイン日 : 22-10-12
チェックアウト日 : 22-10-14
人数 : 大人1名様
予約番号 : RYa0f1nh4n_4
但し : 宿泊代金としてクレジットカード決済
発行日 : 2022/08/04

ご利用ありがとうございました。

楽天グループ株式会社
〒158-0094 東京都世田谷区
楽天クリムゾンハウス
<https://travel.rakuten.co.jp/>



Rakuten Travel

領収書

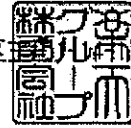
ちがさき自民クラブ 水本定弘分 様

伝票番号 : 131816438

お名前 : みずもと さだひろ
金額 : 18,000 円
宿泊施設 : hotel H2 ホテルエイチツー長崎
宿泊施設住所 : 長崎県長崎市築町5-11
チェックイン日 : 22-10-12
チェックアウト日 : 22-10-14
人数 : 大人1名様
予約番号 : RYa0f1nh4n_3
但し : 宿泊代金としてクレジットカード決済
発行日 : 2022/08/04

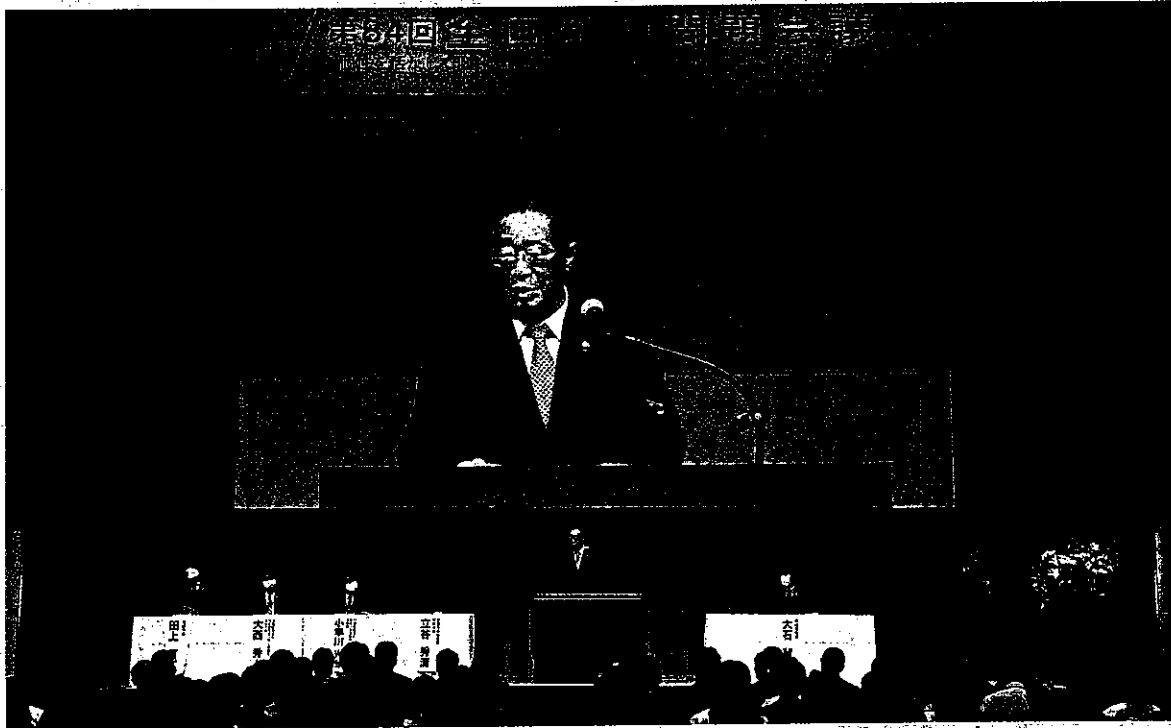
ご利用ありがとうございました。

楽天グループ株式会社
〒158-0094 東京都世田谷区
楽天クリムゾンハウス
<https://travel.rakuten.co.jp/>

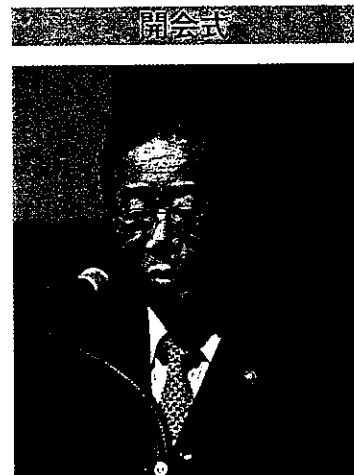


個性を活かして「選ばれる」まちづくり ～何度も訪れたい場所になるために～

(公財) 後藤・安田記念東京都市研究所 主任研究員 たなかあきこ 田中暁子



2022年10月13日(木)、14日(金)の2日間、第84回全国都市問題会議(全国市長会、(公財)後藤・安田記念東京都市研究所、(公財)日本都市センター、長崎市主催、(公財)全国市長会館協賛)が、出島メッセ長崎において開催された。今回の会議は「個性を活かして「選ばれる」まちづくり～何度も訪れたい場所になるために～」をテーマに、全国から市区長、市区議会議長、市区議会議員、市区職員など約1900人へのほる多くの参加者を得た。第1日は、午前中に開会式、基調講演と主報告、午後には一般報告が行われた。第2日には、午前中はパネルディスカッションと閉会式、午後には希望者による行政視察が行われた。



開会あいさつを行う立谷会長

開会式

開会式では、主催者を代表して全国市長会会長の立谷秀清・相馬市長による開会あいさつ、続いて田上富久・長崎市長による開催市市長あいさつがあった。また、大石賢吾・長崎県知事（柿本敏晶・長崎県統轄監が代読）から祝辞をいただいた。

基調講演

高田旭人・株式会社ジャパネットホールディングス代表取締役社長兼CEOは「民間主導の地域創生の重要性」と題して基調講演し、長崎を、さらには全国の地域を盛り上げるための民間企業の役割について、同社が進めている「長崎スタジアムシティプロジェクト」などを紹介した。

ジャパネットは通信販売事業を通じて、世の中にある良いものを見つめる「磨く」「伝える」ことを培ってきた。近年は、その三つのステッ



高田・株式会社ジャパネットホールディングス代表取締役社長兼CEO

プを地域で活かすために、二つ目の事業の柱としてスポーツ・地域創生事業に取り組んでいる。

地域創生に取り組みきっかけは、2017年にプロサッカーチームのV・ファーレン長崎を完全子会社化したことである。2020年には長崎初のプロバスケットボールクラブ「長崎ヴェルカ」を立ち上げ、現在は、長崎駅から徒歩10分に位置する三菱重工工業長崎造船所幸町工場跡地（約7ha）でスタジアム・アリーナや商業施設、ホテルなどからなる「長崎スタジアムシティプロジェクト」を進め、2024年の開業を目指している。

「長崎スタジアムシティプロジェクト」の背景として、長崎市は、人口の転出超過が多いという事実がある。長崎から東京や大阪、福岡に出ていかずに、全国で戦える、さらには、幸せを感じられる仕事を生みだせないか。一度長崎から出て行ったとしても、将来戻ってきたときに、楽しみが増えるようなまちをつくれなにか。そうした思いがスタジアムシティプロジェ

クトの原動力となっている。

サッカーチームもバスケットボールチームも、ホームゲームはそれぞれ年間約20日ほどである。そのわずか20日のためにスタジアムを建設しようとする、収支を合わせる事が難しい。しかし、公平性を重視する行政ではできないような、民間企業ならではのやり方で、スタジアムシティ全体の「幸福の総量を最大化する」ことが考えられている。例えば、食事も含めて楽しい時間を過ごせるVIPルームによって収益を確保することで、臨場感あふれるゴール裏席は相対的に安価にすることができると。また、試合がない日は、併設された保育園の子どもたちが芝の上を走り回ったり、スタジアムのVIPルームをスタジアムが臨めるホテルとして活用したり、民間企業ならではの柔軟性で、さまざまなアイデアを検討している。

主報告

田上富久・長崎市長は「長崎市の魅力あるま



田上・長崎市長



田中・島根県立大学地域政策学部准教授



佐藤・山形市長



高尾・一般社団法人地域力創造デザインセンター代表理事

ちづくり」と題し、長崎市で進行中のさまざま
なまちづくりの取り組みを説明した。

長崎市では、人口減少下で平成の市町村合併
が行われ、地域が広がった。人口密度の低下に
ともなうさまざまな課題に立ち向かうために、
「ネットワーク型コンパクトシティ長崎」とい
う考え方に基づき、活力と暮らしやすさを維持し
ようとしている。そうした中で、都心部の機能
を落とさず、向上させていくことは大事であ
り、長崎市の都心部では現在、長崎駅周辺（陸
の玄関）、スタジアムシティ、松が枝周辺（海
の玄関）、まちなか（母屋）でまちづくりの動きが
進んでいる。

陸の玄関、海の玄関を大事にする背景には、
長崎の「交流のまち」としての歴史がベースにあ
る。長崎学の創始者である古賀十二郎の「港あ
り 異国の船をここに招きて 自由なる町をひ
らきぬ 歴史と詩情のまち長崎 世界のナガサ
キ」という言葉にあるように、長崎は開港か
ら現在まで、港を通じて交流をしながら発展し

てきたまちである。南蛮船、出島・唐人屋敷、
居留地の時代、上海航路の時代、観光都市の時
代と、時代によって交流の形は変わり、現在は、
時代の変革期を迎えて「21世紀の交流都市」に進
化しようとしている。

まちの玄関だけでなく、まちなか（母屋）の魅
力や価値を高めていかなければいけない。そし
て、近年では価値観がますます多様化してお
り、新たな価値を求めて大都市から地方へと新
たな人の流れも生まれ始めている。

野母崎地区で発見された恐竜の化石からは
「価値を見つける」こと。長崎市に散らばる魅力
を見つけてながらまち歩きをする「長崎さるく」
「さるく」とは「ぶらぶら歩く」という方言の取
り組みと、軍艦島やキリシタン関連遺産からは
「価値に気づく」こと。景観専門監制度からは
「価値を磨く」こと。「長崎スタジアムシティプロ
ジェクト」や長崎大学が計画しているBSL（バ
イオセーフティレベル）4施設、若者が始めた
旅のサブスク施設HalfH（ハーフ）、市民団体が

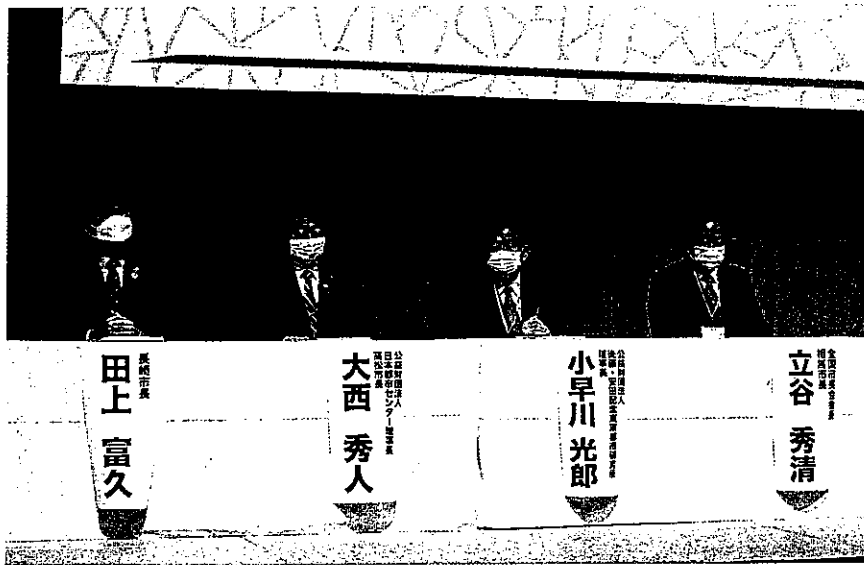
取り組んでいる「さかのうえん」からは「価値を
生み出す」こと。長崎市では、これらの四つの
視点から、まちの「価値」を見つめ直す取り組み
が行われている。こうして、長崎らしい、長崎
にあった暮らしやすさを目指したまちづくりが
進められている。

一般報告

第1日の午後は、3題の一般報告があった。

まず、田中輝美・島根県立大学地域政策学部
准教授が、「何度も訪れたくなる場所 都市の
新たな魅力と関係人口」と題した報告を行い、
人口減少社会における担い手不足という課題に
対し、「つながり」をつくることで立ち向かう可
能性が示された。

「もちがせ週末住人の家」（鳥取市用瀬町）は
空き家を使ったゲストハウスである。「週末住
人s」として登録した学生や若手社会人が、週
末になると定期的に通って、地元住民に混じっ
て地域・集落の年中行事に参加するだけでなく、



おのおのの得意分野や興味を活かした取り組みをしている。「週末住人」と住民が一緒に食卓を囲む「週末なべ部」も定期的に開催されている。「草刈り応援隊」(雲南市)は、約50人の草刈り応援隊が、年に3回通ってくる。草刈りで汗をかいた後にはおいしいお米を食べて、住民と交流する。「INAKAイルミ」(邑南町)では、廃線となったJR三江線の宇都井駅がすてきにライトアップされ、イルミネーションを見るだけでなく、飾り付けや片付けに協力して一緒に

働くツアーが行われている。

若い世代を含めた多世代が何度も通ってくるポイントとして、①名前が覚えられる規模(量より質)、②準備から片付け、打ち上げまで一緒に(脱・お客さまは神様)、③住民の思いや背景も伝える(ストーリー化)がある。東京生まれ、東京育ちの人たちは「ふるさと難民」となっており、ふるさとに憧れがある。つながりがあるということが若い世代にとっては価値であり資源となっている。関係人口という言葉は2016年ごろに生まれた。この言葉の背景には、人口の供給サイドである都市住民はつながりを求め、需要サイドの過疎地域は人口減少に直面し「よそ者」を歓迎するようになったという二つの変化がある。関係人口は過剰に奪い合わなくてよく、限られた担い手を共有(シェア)することができ、地域を野球チームに例えると、関係人口は「助っ人外国人」である。自分たちのチームの課題や戦力を把握した上で、どんな助っ人外国人が必要なのかをイメージし、力を合わせてチームをつくらうとすることが必要である。

続いて、佐藤孝弘・山形市長は「ビジョンを活かしたまちづくり」「選ばれる山形市」を指して」というタイトルの下、「健康医療先進都市」と「文化創造都市」という2大ビジョンに基づく「選ばれるまち」となるための政策の一端を報告した。

「健康医療先進都市」の具体化のうち、①「医療」「先進」については、市立病院済生館の充実

と山形大学医学部との連携によって推進している。②「健康」については、市民の健康寿命延伸が最大の課題となっており、「歩くこと」とそれを補完する公共交通の充実をまちづくりの中心に据えている。

歩数によって「健康ポイント」がたまると「健康ポイント事業SUKSK(スクスク)」は、9000人近くの市民が登録し、楽しみながら歩く習慣を身に付けている。また、400年前からの疎水である「山形五堰」を活かしながら、回遊性の高いまちづくりを進めている。五つの堰のうちの一つである「御殿堰」は、高度経済成長期に暗渠化されてしまったが、まだ表に出ている部分は活かし、ふたが開まっているところはふたを開け、堰沿いを歩ける魅力的なまちにしていくというビジョンがランドデザインの中心で示されており、少しずつ整備が進んでいる。冬でもウォーキングできるように消雪道路のネットワーク化も進められているし、冬でも子どもが、しかも障がいの子が分けてなく遊べるように屋内型児童遊戯施設「シエルトインクルーシブプレイス コバル」がオープンしている。さらに、令和3年3月に策定された「山形市地域公共交通計画」に基づくさまざまな取り組みや、山形市のもう一つの将来ビジョンである「文化創造都市」に基づく山形国際ドキュメンタリー映画祭の開催や拠点施設「やまがたクリエティブシティセンターQ1(キューイチ)」などの紹介もあった。そして、ビジョンを掲げた上で、それを具体化する事業・政策を次々と



展開し、それに呼応して市民・企業などがその方向性に合致する取り組みをはじめ、まちの個性がより濃くなるというステップが示された。

三つ目の一般報告は、高尾忠志・一般社団法人地域力創造デザインセンター代表理事から「『交流の産業化』を支える景観まちづくり〜長崎市景観専門監の取り組み〜」と題して行われた。長崎市景観専門監とは、2013年度に

設置された景観の専門職である。長崎市は「100年に1度のまちづくり」と呼ばれる、大規模な事業によってまちが大きく更新される時期を迎えている。その一つ一つの公共事業に少しずつ工夫をして価値を高めて、それを積み重ねて行くという景観専門監のミッションを通じて、公共事業デザインの指導・管理と、職員の人材育成を行っている。

まず高尾氏は、「マズローの欲求5段階説」を引き合いに出し、「選ばれる地域」になるためには、「生理的欲求」「安全の欲求」といった「低次の欲求」だけではなく、「社会的欲求(帰属欲求)」「承認欲求」「自己実現欲求」といった「高次の欲求」が満たされることが重要であることを指摘した。そして、「高次の欲求」が満たされる空間づくり、その場所でしか享受できない価値を生み出す景観づくりについて、長崎市での実例を紹介した。

平和公園爆心地ゾーンエントランス改修では、過去の公園整備計画からデザインの意図をくみ取ることや、道路区域と公園区域の境界を意識しないこと。鍋冠山公園展望台リニューアルでは、世界遺産の五つの構成要素が展望台から見ることが分かったため、それらを見渡すような形でスロープを登っていくことや、障がい者の動線を分けられないこと。稲佐山山頂電波塔ライトアップでは、「観光客はもちろんだけでなく、市民にとっても誇れる日常風景にならないか」という考えの下、長崎の歳時記や時間によって変化するライト

アッププログラムを考えること。こうしたことが、長崎市の担当職員と景観専門監による現場確認・議論によって共有され、個々のプロジェクトがブラッシュアップされていた。

パネルディスカッション

第2日の午前は、大杉寛・東京都立大学法学部教授をコーディネーターとして、野口智子・ゆとり研究所所長、田中敦・山梨大学生命環境学部教授、桐野耕一・NPO法人長崎コンプラドール理事長、都竹淳也・岐阜県飛騨市長、藤原保幸・兵庫県伊丹市長によるパネルディスカッションが行われた。

はじめに大杉氏は次のことを指摘した。①移住、観光地訪問、関係人口などで、「人が移動する」ときの選択基準は何なのか。基調講演で高田氏が「幸せ」ということを語ったが、コロナ禍で求める精神的欲求が様変わりしてきた中で「幸せ」とはどういう「幸せ」なのだろうか。②単に幸せを感じられれば良いということではなく、幸せづくりに自身がコミットすることが大切である。③幸せづくりを誰か一人がするのはなく、みんなでシェアしていく。その中で行政の役割は何か。このような問題提起を受けて、議論が始まった。

野口氏は、その土地に住む人、一人一人が育つことの重要性を指摘し、まちづくりを頑張っている人たち同士が出会い、つながり、成長している事例として、雲仙市における「雲仙人プロジェクト」と紀の川市における「フルーツツ

パネルディスカッション

コーディネーター



大杉・東京都立大学法学部教授

パネリスト



野口・ゆとり研究所所長



田中・山梨大学生命環境学部教授



桐野・NPO法人長崎コンプラドール理事長



都竹・飛驒市長



藤原・伊丹市長

リズム」を紹介した。
田中氏は、「ワーケーション」という言葉の日本における変遷を報告した。ワーケーションという言葉の知名度が一気に上がったのは、2020年7月に菅官房長官(当時)が政府として推進方針を発表したことに端を発する。当初は「旅行需要の平準化と新たな旅のスタイルの促進」が目的であったが、その後、いろいろと形を変えており、現在では「合宿型」「サテライトオフィス型」「地域の課題解決型」などもワー

ケーションになっており、自治体で「ワーケーションを推進する」という時に、誰を対象にするのが難しい状況になっていることが指摘された。
桐野氏は、2006年に開催された日本初となるまち歩き博覧会「長崎さるく博'06」をきっかけに生まれた「長崎さるく」と「まちづくり」について報告した。「長崎さるく」では普通の市民が「まち歩きガイド」となり、まちにやってきた人たちに思いっきり長崎自慢をしておもてなし

をする。まちを歩くということは、まちを見つめるということであり、長崎のまちに暮らしている人たちと一緒にまちを歩くことで、長崎のまちを訪れた人が自分たちのまちを振り返るきっかけにもなり、他のまちの人々にも大きな影響を与えている。
都竹市長は、飛驒市における関係人口の取り組みを報告した。飛驒市は2017年に「飛驒市ファンクラブ」を設立し、会員は47都道府県にわたり、その数は2022年10月現在、1万



人を超えている。東京、大阪、岐阜で会員が集まり交流する「飛驒市ファンの集い」や、会員からの提案に基づいて「飛驒市ファンの集い in 飛驒市」が開催された。こうした活動を行う中で、自主的に飛驒市に来てイベントの手伝いをする人が現れ始めた。2020年4月には、飛驒市を手伝い、関わりを持ちたいファンの方々と、市内で関わってもらえる課題をマッチング

させる関係案内所「ヒダスケー」がスタートした。プログラム(困りごと)の提供者は「ヌシ」、参加者は「ヒダスケー」と呼ばれ、2022年10月までの約2年半でプログラム数は143、参加人数は1185名となっている。ヌシの意見では、人手不足解消もあるが、「飛驒を愛する方たちと出会えてうれしい」ということが大きい。

藤原市長は、伊丹市民に、伊丹のまちに対して誇りと愛着を持ってもらう、シビックプライドを醸成するためのさまざまな取り組みを報告した。伊丹市にゆかりの深い著名人に、伊丹の良さをアピールしてもらおう「伊丹大使」は、2008年度から始まったもので、田辺聖子さん、田中将大さん、南野陽子さん、有村架純さん、DaViDの花村想太さんなどが就任している。また、伊丹市は「清酒発祥の地」であり、建築年が確認できる日本最古の酒造とされる「旧岡田家住宅・酒蔵」が保存されており、2020年に「日本遺産」に認定された。隈研吾氏が手掛ける初めてのZEB(ゼロエネルギービルディング)建築である新市庁舎など、「行きたい」まちに選ばれるためのイメージ戦略・PR戦略が紹介された。

以上のパネリストの報告を受けて、デイスカッションが行われた。その中では、「人は人に会いに行く」こと、訪問者を受け入れる地域の方々が育つこと、訪れた人もその土地によって育つて帰るような、磨きあう関係が重要であることなどが共有された。



閉会式

続いて閉会式では、次期開催市の熊谷雄一・八戸市長のあいさつ、(公財)後藤・安田記念東京都市研究所の小早川光郎理事長の閉会あいさつが行われた。

行政視察

午後の行政視察は、6コースに分かれて行われた。わが国最初の近代西洋式病院である長崎(小島)養生所などを巡る長崎の医学・感染症対策視察と、居留地路地裏などを巡る歴史文化を活かしたまちの魅力視察の2コースは、「長崎さるく」ガイド付きで行われた。ジャパネットグループがサッカースタジアムを中心に建設を進めている「長崎スタジアムシティプロジェクト」、テイラノサウルス科大型種の化石が国内で初めて発見された野母崎にオープンした「長



鶴鳴学園・長崎女子高等学校龍踊(じゃおどり)部による「龍踊り」の披露

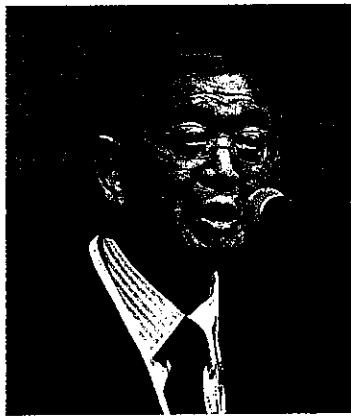
崎市恐竜博物館」など、今回の講演中に紹介された場所を実際に訪ねるコースや、AR(拡張現実)を使用した平和学習アプリによる「さる

く」を実際に体験できるコース、9月23日に西九州新幹線が開通したばかりのJR長崎駅と今回の会場となった出島メッセ長崎を巡るコースなど、会議の内容とリンクした場所をそれぞれ視察した。



今回の会議は、コロナ禍による2回の中止を経て、3年ぶりに開催された。この数年間、新型コロナウイルスにより、人と人が物理的な距離を取ることを強いられてきたわけであるが、「つながり」や交流が、人口減少社会という課題に立ち向かう上で非常に重要であることが確認された。田中輝美氏が紹介した鳥取市・雲南市・邑南町の事例や、都竹市長が紹介した「ヒダスケー」の事例のように、地域に課題があるということ自体が「つながり」のきっかけとなり、外部の人たちが何度も通うようなケースもある。田上市長が指摘したように、まちづくりにおいて「天の時・地の利・人の輪」は非常に重要であ

閉会式



閉会あいさつを行う小早川・理事長

る。それぞれの地域が、時代認識をきちんとし、自分の地域の課題をきちんと把握すること、そして、行政・市民・民間・大学などさまざまなまちづくりのプレイヤーが成長することが、「何度も訪れたい場所」として選ばれるために必要であろう。参加者がこの会議の成果を地元を持ち帰り、おのおのの地域で、個性を活かして「選ばれる」まちづくりが行われることを期待したい。



次期開催市のあいさつを行う熊谷・八戸市長

政務活動報告書

令和5年3月28日

茅ヶ崎市議会議長
加藤 大嗣 様

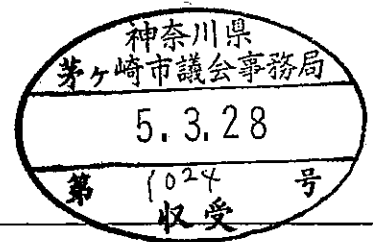
(会派名) ちがさき自民クラブ

(氏名) 岡崎 進

政務活動の結果は、次のとおりでした。

日 時	令和4年10月31日、11月1日
研修内容 (研修地)	いざ鎌倉！現地で学ぶ「鎌倉殿の13策」 (1、藤沢商工会館（ミナパーク）2、カルチャースペース鎌倉)

政務活動の結果（別紙のとおり）



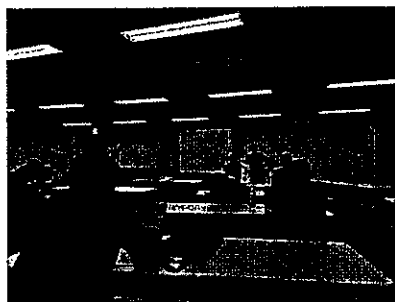
いざ、鎌倉！現地で学ぶ「鎌倉殿の13策」
令和4年10月31日11月1日開催報告書

ちがさき自民クラブ
岡崎進

基調講演 早稲田大学名誉教授・元三重県知事 北川 正恭正恭

20年 ローカル・マニフェストで地域から日本が変わる

口約束ではなく、文字と数字で示すマニフェストを提唱 2003年で20周年になる一流の学者が長洲さんについていた、栄光の土地柄神奈川県で松田議長がが神奈川県議会で議長にマニフェストを作るってことで、神奈川県も横浜もこれが議会かという感じであった。議長が、マニフェストを作り、議会局に名前も変え、住民に信頼される議会を目指した。



政治改革運動 1990年ごろ政治資金法 地方分権推進法 2000年に地方分権一括法ができ、分権体制、基本的に分権して、補助金等が減って、忖度せざる負えなくなった。地方議会として、地方から自己決定自己責任を議会決定していく。執行部と議事決定機関との差、都道府県では80%が委任事務だった市町村が40%が委任事務だったので、しっかり調査費が必要だから、政務活動費が必要、議員定数、議員報酬を削減では、意味がない

執行部を監視するだけではだめ、問題は目覚めた議会と居眠り議会の差があるもっと改革するためにいろいろな情報を探している事とかを地方議会が担う必要があり、政策に強くなる必要がある。

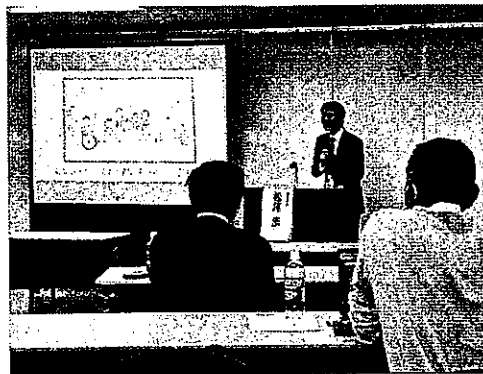
第2ステージとして、民意の反映を、地方から国を変えるということで、法律規則を変える民意を反映することのトライを、議会として、二元代表として、議会事務局も含め、チーム議会として変わっていく努力をして欲しい。

特別講演 鎌倉市長 松尾 崇 第1策 共生社会の実現に向けて 事例発表
ビジョンとして、鎌倉市を世界に誇れる持続可能なまちにする。

ミッションとして、共生社会を共創する。

バリューとして多様性を尊重し、複雑な社会を理解する努力を継続し、鎌倉を愛する先人達が守ってきた歴史、文化、共生の価値観を大事にする。

理念条例、障がい者との間に障害がある、支援をされることがあるけど、一旦教師に変われば、支援する側に回る、全ての人に配慮ある社会、支援する人、される人を固定しないを当たり前にとすることで、鎌倉の暮らしと福祉の相談窓口一緒にして、高齢者の問題、家族ごと支えていく人に向か



っていく部分を総合相談窓口で受けるようにして、相談件数3倍になった。
障害者雇用を増やすために、市役所の中で働いてみようよ。PCの仕事なら大丈夫なんてことも受け、2千人雇用センター

鎌倉FIKA（ふいーか）「みんな悩みながら生きているんだな」

心を聞いていく、会話で気づいていく、仲が良いから本音の話が出来ない？

そんなことも・・・

陰キャだけど陽キャを演じているのがつらい、引きこもりの本音の引き出す。

バリアフリービーチ海の家 of 自主的な取り組み：ボードウオークを引いてみて、赤ちゃんの車いすや足の悪いお年寄りも歩いてくれた。

鎌倉階層パークの挑戦：がい者が、海藻をひろって干して豚の餌に、いろいろな方が関わって行っている

ファブラボ鎌倉：鎌倉のクリエイターの集まる街に、そして鎌倉の技術を

複合施設ミチテラス：共生型デイサービス

よろず相談所：地域住民が気軽に立ちようtれる

鎌倉宗教者会議：お互いを理解することで世界平和に

などいろいろな取り組み

今後の取り組みとして

鎌倉氏ケアラー支援条例の制定

官民連携による孤独・孤立対策の推進。様々な分野の担い手が連携して地域活動を展開する場づくり

（地域焼成プラットフォーム）

障がい者の雇用企業の見つけ方

どのように雇用するか？どう続けていくかを障がい者と企業の間に入って相談しながら調整している

身に見えない思いが差別につながっているのではないかな？

一人一人が思い込み等を理解しないと解決しないのでは？

そんなことを気づいてもらえればいいかな？

居場所づくりをどう考えるのか？

小中学生の居場所、高校生の居場所は？

空き家を地域のかたが運営して居場所づくりに・・・をしていきたい。

【横浜市】 横浜市議員 鈴木 太郎

第2策「デジタル化推進特別委員会」を通じた議会からのDX

通年のテーマを調査研究を、考慮すべき要因

価値を生み出すことが肝要＝バリュー

運営の方法に問われない＝イノベーション

自治体DX全体の政策論は状に二院会に任せ

る＝ロール

リサーチプロジェクト、ペーパーレスとオンライン

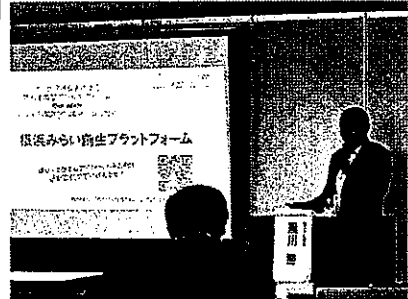
会議が出来るようにしていく



第 3 策 横浜市会議員 黒川 勝

直接参加型民主主義プラットフォーム「Decidim」を活用した住民意見の聴取

スペインのバルセロナで成功している市民参加型の政策形成プラットフォームを日本人にもやりやすいように作り直すことを目指して、民間企業と共同実証実験を行ない、「横浜みらい創成プラットフォーム」と名付け、議員提案による「横浜市脱炭素社会の形成の推進に関する条例」に基づき市民から脱炭素のかかわる政策を募集し、その政策をオンラインによる市民と議員との意見交換、オフラインによる市民とのワークショップなどの繰り返しのによってブラッシュアップし、決算特別委員会や各常任委員会で、各議員が精査する提案を行い、翌年の予算に反映することが出来たという成功事例紹介された。



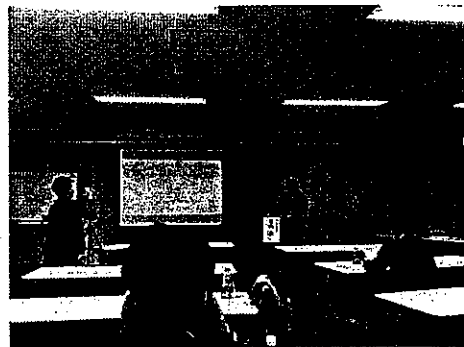
【茅ヶ崎市】 茅ヶ崎市議会議員 岡崎 進

第 4 策 配布タブレット端末を用いた中学生への意識調査の実践

第 5 策 決算審査で行政事務の事業評価～次期予算編成への反映へ～

第 6 策 電子契約サービスの導入～紙も印鑑も郵送も不要に～

今回は私自身も講師の側に回り、茅ヶ崎市議会や茅ヶ崎市で行っている3策について話をさせて頂きました。



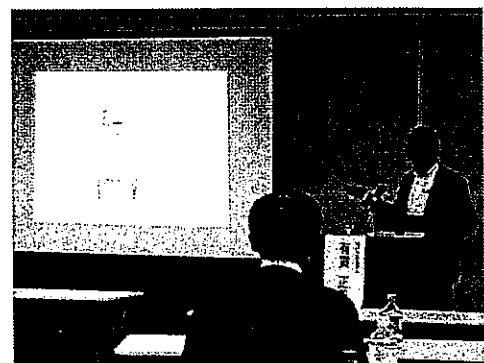
【藤沢市】 藤沢市議会議員 有賀 正義

第 7 策 非常時に備え委員会のオンライン開催を条例化

第 8 策 議会報告会のオンライン開催～コロナ禍でも住民意見を聴取～

第 9 策 民間ノウハウを活かしたDX推進計画の策定

隣の藤沢市の取組としてオンラインでの委員会の条例化の議論、藤沢市議会の意見交換会カフェトークをオンライン開催した話、そして民間ノウハウを活かしたDX推進計画という事で、フルタイムではなく週2週3勤務の民間人の雇用による行政内部の計画を改変させている話を伺い、庁内のみで行っている茅ヶ崎市との差を感じました。



【鎌倉市】 ローカル・マニフェスト推進連盟 共同代表 鎌倉市議会議員 久坂 くにえ

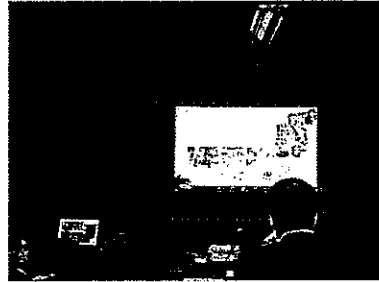
第 10 策 議会超党派で政策提言～「政策法務研究会」の取り組み～

第 11 策 産休に加え育休や介護も～議会と家庭の両立を目指した会議規則改正～

政策立案及び政策提言を目指し、会派を超えた議員による政策研究活動です。

「鎌倉での移動を楽にする」オンデマンドモビリティを始めとした交通政策に関する政策法務研究会や補助犬と暮らすフレンドリーなまち鎌倉を実現する調査研究についてを行っており、常任委員会以外でも連携して政策を研究しているのは素晴らしい取り組みで、茅ヶ崎市議会でもやってみよう取り組みです。

会議規則の改正は、議連としてタッグを組んで働きかけをして、全国的な取り組みをした。



【横須賀市】 横須賀市議会議員 小林 伸行 / 学生インターン

第 12 策 予算決算のオープンデータ化～先駆けた情報公開で広がる可能性～

第 13 策 ポスター掲示板のGIS管理&オープンデータを利用した市民の実践

小林さんのレポートはデータを見てもらう方が早いですね。

オープンデータを見えるかするというものの大切さを感じました。

同じこと?どこまでできるのか、いろいろな勉強をしないと先端技術についていけないことも自覚しつつ研修を続けていきたいと思いました。

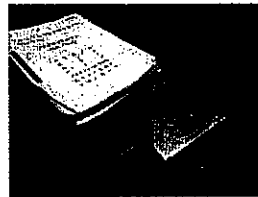
第12策

市の予算、勝手にオープンデータ化プロジェクト(1)

●力技のオープン・データ化

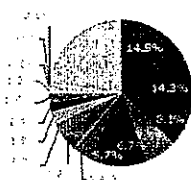
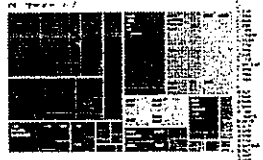
▶予算/決算説明資料をデータベース化

- ・一般会計 約2000件
- ・特別会計 約100件
- ・企業会計 約500件

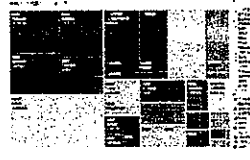


▶高さ32cmの資料をインターンが手入力

●様々な分析が可能



- 子育て
- 社会福祉
- 教育
- 文化
- 都市計画
- 環境
- 防災
- 健康
- 福祉
- その他



出張旅費計算書

適用	いざ鎌倉！ 現地で学ぶ「鎌倉殿の13 策」	会派	ちがさき自民クラブ			
期間	令和4年10月31日 令和4年11月1日 2日	出張者 氏名	岡崎進			
経路	日数	泊数	キロ数	運賃(円)	急行料金(円)	金額(円)
茅ヶ崎 — 藤沢 JR東海道本線	1	—	7.5	200	—	200
藤沢 — 茅ヶ崎 JR東海道本線			7.5	200	—	200
茅ヶ崎 — 鎌倉 JR東海道本線	1	—	16.6	330	—	330
鎌倉 — 茅ヶ崎 JR東海道本線			16.6	330	—	330
計	2	—	48.2	1,060	0	1,060
	日数		単価(円)		金額(円)	
日当 (鎌倉市のみ)	1		1,200		1,200	
参加費	1		5,000		5,000	
合計	¥7,260 ×		1人		¥7,260	

ローカル・マニフェスト推進連盟 湘南・鎌倉勉強会

いざ鎌倉!



Manifesto Awards

現地で学ぶ

相模国 鎌倉郡
三浦郡
高座郡
武蔵国 久良岐郡



「鎌倉殿の13策」

今回の湘南・鎌倉勉強会は、放送中の大河ドラマ『鎌倉殿の13人』になぞらえて、鎌倉幕府の御家人13人が活躍した地域から厳選した13の取り組みをご紹介します。とりわけ、旧弊を破って進取の気概で乱世を走り抜けた坂東武者のように、DXやオープン・ガバメントなど旬の取り組みを多く集めました。ぜひ共に学び、各地から地方創生のために立ち上がりましょう！

●第一陣 2022年 **10/31** (月) 13:00~16:30

@藤沢商工会館(ミナパーク) 藤沢市藤沢 607-1 藤沢駅徒歩4分

●第二陣 2022年 **11/1** (火) 10:00~12:00

2日目の午後から鎌倉
市内フィールドワーク
あり(希望者のみ)

@カルチャースペース鎌倉 鎌倉市小町 2-12-35 大路ビル 鎌倉駅徒歩5分

※オンライン参加も可能なハイブリッド開催(申込後にZoomのURLをお送りします)

●参加費 議員 5,000円/一般 2,000円(市民・自治体職員など)

●お申込: **Peatix** にて →<https://lm20221031-1101.peatix.com/>

※現地会場は定員60名。先着順ですでお早めにお申し込み下さい

●主催: ローカル・マニフェスト推進連盟 湘南・鎌倉勉強会実行委員会

(早稲田大学マニフェスト研究所内/担当: 亀井・山内)

Tel: 03-6709-6739 E-mail: mani@maniken.jp



プログラムの
詳細は裏面へ

「鎌倉殿の13策」プログラム

10/31(月) 第一陣

13:00 開会

基調講演 早稲田大学名誉教授・元三重県知事 北川 正恭

マニフェスト20年 ローカル・マニフェストで地域から日本が変わる

特別講演 鎌倉市長 松尾 崇

第1策 共生社会の実現に向けて

事例発表

【横浜市】 横浜市会議員 鈴木 太郎

第2策 「デジタル化推進特別委員会」を通じた議会からのDX提言

横浜市会議員 黒川 勝

第3策 直接参加型民主主義プラットフォーム「Decidim」を活用した住民意見の聴取

【茅ヶ崎市】 茅ヶ崎市議会議員 岡崎 進

第4策 配布タブレット端末を用いた中学生への意識調査の実践

第5策 決算審査で行政事務の事業評価～次期予算編成への反映へ～

第6策 電子契約サービスの導入～紙も印鑑も郵送も不要に～

【藤沢市】 藤沢市議会議員 有賀 正義

第7策 非常時に備え委員会のオンライン開催を条例化

第8策 議会報告会のオンライン開催～コロナ禍でも住民意見を聴取～

第9策 民間ノウハウを活かしたDX推進計画の策定

16:30 閉会

11/1(火) 第二陣

10:00 開会

事例発表

【鎌倉市】 ローカル・マニフェスト推進連盟 共同代表

鎌倉市議会議員 久坂 くにえ

第10策 議会超党派で政策提言～「政策法務研究会」の取り組み～

第11策 産休に加え育休や介護も～議会と家庭の両立を目指した会議規則改正～

【横須賀市】 横須賀市議会議員 小林 伸行／学生インターン

第12策 予算決算のオープンデータ化～先駆けた情報公開で広がる可能性～

第13策 ポスター掲示板のGIS管理&オープンデータを利用した市民の実践

【鎌倉市】 鎌倉市市民防災部次長兼大河ドラマ担当課長 廣川 正

特別編 大河ドラマの取り組みについて

12:00 閉会

※当日のプログラムは変更となる場合があります。予めご了承ください。



★11/1 午後の鎌倉市内フィールドワーク詳細は Facebook でご参照下さい



領収データ - 2022年10月31日 (月) -11月01日 (火) ローカル・マニフェスト推進連盟
湘南・鎌倉勉強会「鎌倉殿の13策」

発行日	2022年11月2日
宛名	ちがさき自民クラブ
合計	¥5,000
但し	研修会参加費として
注文日	2022年10月27日
注文番号	18487343
主催者	ローカル・マニフェスト推進連盟事務局 (ローカル・マニフェスト推進連盟)
イベント名	2022年10月31日 (月) -11月01日 (火) ローカル・マニフェスト推進連盟 湘南・ 鎌倉勉強会「鎌倉殿の13策」



印刷する

編集モード

政務活動報告書

令和5年3月28日

茅ヶ崎市議会議長
加藤 大嗣 様

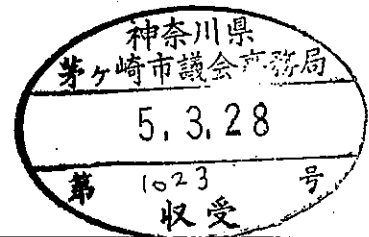
(会派名) ちがさき自民クラブ

(氏名) 岡崎 進

政務活動の結果は、次のとおりでした。

日 時	令和4年11月9日、10日
研修内容 (研修地)	トップランナーに学ぶ 受賞事例研修会 (株式会社メディアドゥ セミナールーム)

政務活動の結果 (別紙のとおり)



日本最大の政策コンテスト優秀者が勢揃い！トップランナーに学ぶ受賞事例研修会
11月9日10日開催 報告書

ちがさき自民クラブ
岡崎進

【日本最大の政策コンテスト】マニフェスト大賞で、今年優秀賞を受賞した全国のトップランナーが、最新の取り組み事例を発表！

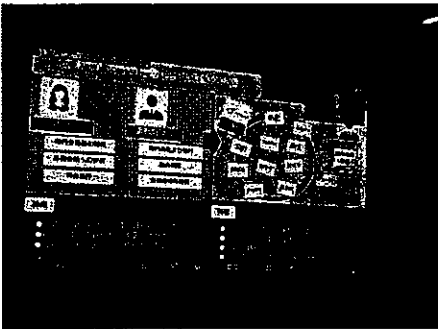
首長、議員一会派、市民一団体、議会など、民主主義を支える改革のトップランナーたちによる最新の取り組みを、一挙に学べる機会として、会場とオンラインのハイブリッドで開催しました。11月9日は、第17回マニフェスト大賞の応募総数（過去最多）3133件の中から選び抜かれた8部門39件のうち、17の団体・個人のみなさんに登場した。会場&オンライン参加のみなさんからの「これが1番良かった！」と思う発表への投票で決めた。今回の研修はスタッフとして協力しながらの研修であったため、主催者の立場からも見させて頂きました。

day1 プレゼンテーション賞は

第1位 町内会員みんなで支える『パズルヒース型町内会活動』唐湊山の手町内会会長金子陽飛さん

高校生の町内会長誕生、長所と短所を補い合う：簡単につながらない（つなげられない）ケースもあり、そのため相互の実践の積み上げや技術・テクノロジーの補助が必要。

町内会の仕事の可視化具体例（モジュール化）：ごみステーション清掃確認・福祉館申請・「やまのて」発行・班長への回覧板配布・役員招集・・・話し合い（ワークショップ）で現在



町内会にはどのような仕事があるのかについて緩やかなワークショップを行い、それを書き出して、カード化しながらみんなで確認しあうスタイルとかを行い、今後の展開及び可能性を（QRコードによるICT化）引継ぎ内容や活動報告。

今後期待される効果は、町内会役員の仕事や活動の可視化、活動の代行および引継ぎ問題の解消、参加・参画しやすい活動、町内会のICTおよび

DX化、町内会活動の記録、振り返り、改選の資料の整理、町内活動の負担軽減と相互扶助機能の向上を目指す。

高校生がここまで出来たのは驚きですが、こういう事例をもとに身近な部分でも取入れられないかと検討したい。



第2位『たった一人の大学生の想いが実現。陳詞採択、そして新座市が「ゼロカーボンシティ宣言」表明』俵里奈さん

「市の気候変動対策を前進させたい。」その一心で新座市議会に「ゼロカーボンシティ宣言（2050年までの温室効果ガス排出量実質ゼロ）」を求める陳情書を提出した。市議会議員との対話を重ね、様々な働きかけを行ったことが実を結び、本会議にて全会一致で採

択され新座市から「ゼロカーボンシティ宣言」が表明された。

本気の1人の市民の思いが、宣言の採択に動いた事例としてしかも若者が行ったことにはビックリさせられるが、こういう市民とのやり取りは大切であるとする。

第3位『新しいスタイルの選挙運動を全国に広め、地方議員を目指す女(生)や若者を応援する「選挙チェンジチャレンジの会」』つくば市議会議員川久保皆実さん

①仕事と育児を犠牲にしない

②他人のお金に頼らない

③既存のやり方に囚われない

以上3つを原則に掲げて選挙にチャレンジした。

「地方議員になって自分の住む街を良く変えたいけど、選挙のハードルが高いので出馬するかどうか悩んでいる」このような方への新しいスタイルの「選挙チェンジチャレンジ会」立ち上げ活動していく。

メディアドウ特別賞は

『トレント技術で「お役所仕事」を変える～AI・アバター・メタバースなどの最新技術による行政DX～』東京都町田市さん

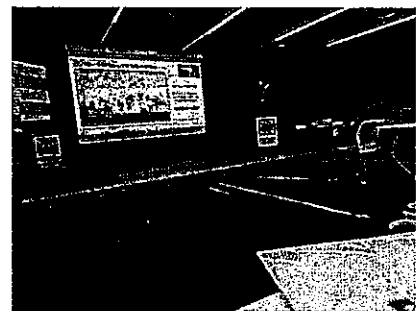
取組の詳細は、AI音声、アバター、メタバースを活用した職員採用PR動画

メタバース・LINEを活用したオンライン行政手続きポータルサイト「まちドア」

アバターとAI音声を活用した公開型オンライン会議「町田市デジタル化推進委員会」

AI・アバター・メタバースなどの最新技術による行政DXのプロモーション動画

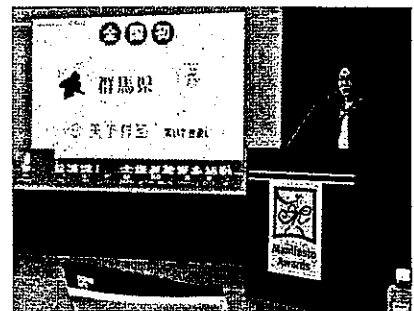
以上の取組みを事業者に頼むのではなく、全て職員が自前で実現した。使用したソフトウェアは最新技術でありながら、専門家でなくても手軽に扱うことが出来、しかも無償又は安価で提供されている。このため無駄な費用と時間をかけることなくスムーズに取組むことが出来たとの報告、こういう取組みを茅ヶ崎にも取入れられるとよいなと考え、提案に繋げていきたい。



day2 プレゼンテーション賞は

第1位『群馬県と共同で「始動人」育成のため、お笑い芸人の先生が主権者教育の授業を全高校で実施県内の18歳投票率は8%以上アップ』株式会社笑下村塾さん

群馬県が予算を使って官民連携で授業を実施するのは、全国初めての試みであり、若者へのアプローチが出来て、成功したと思える。今後も若者が感じる社会への問題意識を行政に届けられる仕組みの造成に努め、更なる群馬の「始動人」育成を目指すされており、今後も目が離せない。



第2位『下宿大学生の投票用紙へのアクセス向上に向けた、不在者投票制度利用推進の試み』下宿生でも投票でさますプロジェクトさん

住民票を移していない下宿が投票するためには、実家に帰るか、不在者投票制度利用するしかない。不在者投票は有効票となるまでは、

①住所地の選挙管理委員会への請求

②住所地の選挙管理委員会からの投票用紙等が請求者へ送付される

③滞在地にて投票

④滞在地の選挙管理委員会から、住所地の選挙管理委員会へ票が送付される。このような制度のサポートを不在者投票申請サポートブースを作って対応する。

第3位『[議長マニフェスト] 市民への約束～不断の議会改革に対する決意～』奥州市議会さん

①奥州市議会の「見える化」の推進

各委員会の活動状況等を分かりやすく見える化⇒全活動を SNS 発信で実施、議会改革の取組みと状況とアウトカム（市民への効果等）の評価と公表

②広報広聴活動の充実・強化を図る

様々な世代の市民参画と多様な市民意見把握⇒ワールドカフェの取組の継続発展

広報内容の工夫と充実を図り市民に分かりやすい情報発信⇒イラストを多用した市議会だより変更済み

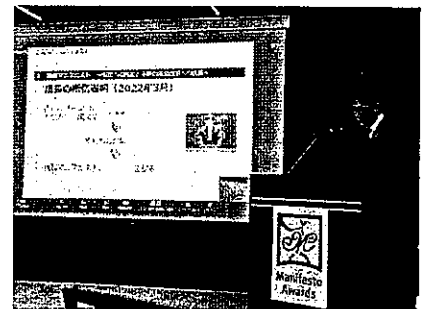
③政策立案・政策提言サイクルの充実・強化を図る

決算予算審査の連動による政策提言サイクルの構築⇒決算

認定時に付帯決議で政策決議提案を実施して、新年度の予算審査で実施状況のチェック

各常任委員会における継続した政策提言の実施と提出済提言のフォロー⇒専門的な調査による政策提言と事後チェックとしてのフォローアップなど

茅ヶ崎市議会でも同じようなことをしているので、参考によりよく取り組みたい。



メディアドウ特別賞は「アニメ動画を用いた小学生段階からの主権者教育の実践とその効果検証」弘前大学教育学部准教授蒔田純さん

小学生にも政治的内容を教える際、最も重視されるべき要素の一つは「分かりやすさ」であろう。これを踏まえ、選挙をテーマとしたアニメ動画「ぽりぽり村のみんなしゅしゅぎ」を作成し、それを用いた出前授業を全国の小学校で行っている。

個人的には、住民主体の認知症政策を実現する認知症条例全国へ訴えた、浦安市議の斉藤哲さん

認知症鉄道事故裁判のあった愛知県大府市が2017年に「大府市認知症に対する不安のないまちづくり推進条例」を制定したことを契機に、全国で自治体独自の認知症条例の制定が進んでいます。「認知症になったら何もわからなくなる」といった誤った認知症感観を

変えたいなどの想いがあり、運気の高まった地域の条例化が進んでいる。

認知症条例比較研究会で、比較研究し、浦安市認知症とともに生きる基本条例

①認知症の本人の意見を取入れていく

②多様なステークホルダーの参画

③条例制定プロセスの公開

以上のような過程を経て、制定をさせたという事を参考に、ぜひとも茅ヶ崎市でも独自の認知症条例の制定を、認知症の方々そして市民の方々とともに創りたいと思います。

出張旅費計算書

適用	トップランナーに学ぶ 受賞事例研修会	会派	ちがさき自民クラブ					
期間	令和4年11月9日 令和4年11月10日 2日	出張者 氏名	岡崎進					
経路	日数	泊数	キロ数	運賃(円)	急行料金(円)	金額(円)		
茅ヶ崎 — 新橋 JR東海道本線	1	—	60.8	990	—	990		
新橋 — 日本橋 東京メトロ銀座線				170	—	170		
日本橋 — 竹橋 東京メトロ東西線				1	60.8	170	—	170
竹橋 — 日本橋 東京メトロ東西線						990	—	990
日本橋 — 新橋 東京メトロ銀座線						990	—	990
新橋 — 茅ヶ崎 JR東海道本線						170	—	170
茅ヶ崎 — 新橋 JR東海道本線	1	—	60.8	990	—	990		
新橋 — 日本橋 東京メトロ銀座線				170	—	170		
日本橋 — 竹橋 東京メトロ東西線				1	60.8	170	—	170
竹橋 — 日本橋 東京メトロ東西線						990	—	990
日本橋 — 新橋 東京メトロ銀座線						990	—	990
新橋 — 茅ヶ崎 JR東海道本線						170	—	170
計	2	—	243.2	4,640	0	4,640		
	日数		単価(円)		金額(円)			
日当	2		2,400		4,800			
参加費	1		5,000		5,000			
合計	¥14,440 ×		1人		¥14,440			

領収データ - トップランナーに学ぶ 受賞事例研修会(2022年11月09日&10日) *会場&オンライン併用

発行日	2022年11月2日
宛名	ちがさき自民クラブ
合計	¥5,000
但し	研修会参加費として
注文日	2022年11月2日
注文番号	18557614
主催者	ローカル・マニフェスト推進連盟事務局 (ローカル・マニフェスト推進連盟)
イベント名	トップランナーに学ぶ 受賞事例研修会(2022年11月09日&10日) *会場&オンライン併用



印刷する

編集モード



Manifesto Awards

日本最大の政策コンテスト優秀賞が勢揃い!

トップランナーに学ぶ 受賞事例研修会

Day1

11/9 水
13:00-16:00

国連旗/自由コミュニケーション研修
クラウドイノベーション/成果
優秀賞委員の取り組みを発表

Day2

11/10 木
10:00-13:00

ロケカル・マニフェスト大賞
国連旗/自由コミュニケーション
優秀賞委員の取り組みを発表



こんな研修会

「日本最大の政策コンテスト」マニフェスト大賞で、今年優秀賞を受賞した全国のトップランナーが、最新の取り組み事例を発表！
全国各地の幅広い主体による最新の取り組みを、一挙に学べます



登壇者は

2022年マニフェスト大賞優秀賞受賞の団体・個人
優秀賞発表(10月上旬予定)後、順次発表します
(昨年実績：全受賞者35団体・個人が登壇発表)



▲ 昨年の冊子(例)



研修会の特徴

- 📍 会場&オンライン併用 オンラインなら全国各地から参加できます
- 📺 後日録画動画を見ることができません(事前申込者に限る)
- 📖 受賞事例をまとめたマニフェスト大賞記念冊子をお渡しします
 - ※ 「マニフェスト大賞記念冊子<定価1,500円(税込)>」が参加費に含まれています。
 - ※ オンライン参加者には後日現物を郵送します。当日は、電子データを送付します。
- 🎯 来年以降優秀賞受賞を目指す方にとっても、マニフェスト大賞のことをさらに知っていただける機会に

日時 2022年11月09日(水) 13時から16時まで
10日(木) 10時から13時まで

参加方法 ・会場(定員30名様先着順)
株式会社メディアドゥ セミナールーム
・オンライン(定員無し)
Zoom ミーティングを使用します

対象 議員、首長、議会事務局・自治体職員、市民等

参加費 議員・首長等 5,000円(税込)
※2日間 上記以外 2,000円(税込)

申込期限 11月4日(金)

お申込 <http://maniken.jp/manitaiseminar/>

《注意事項》1. お申し込み前にホームページ記載の留意事項を必ずご確認ください。

2. 請求書払いのご希望は事務局までご相談ください。

こちらからお申し込みください

《問合せ先》

事務局：早稲田大学マニフェスト研究所(担当：山内、亀井) 電話番号：03-6709-6739 メール：mani@maniken.jp



※ 請求書払いを希望する場合はこちらからお申し込みください。

チケット購入期限：11月4日（金）

📄 チケットを購入

プログラム

11月09日（水）開催

13時から16時まで

目安 13:25~

躍進賞

『他自治体職員による議会改革アドバイザー制度を導入、「知見」「手法」「住民参加」による議会改革の早期実現』

阿見町議会・阿見町議会事務局

| 会場発表 |

ローカル・マニフェスト大賞〈議員・会派の部〉

『「決算」→「予算」の連続性・一体性を重視した決算審査のあり方』

みらい川崎市議会議員団

| 会場発表 |

目安 13:50~

コミュニケーション戦略賞

『新しいスタイルの選挙運動を全国に広め、地方議員を目指す女性や若者を応援する「選挙チェンジチャレンジの会」』

つくば市議会議員 川久保 皆実

| 会場発表 |

コミュニケーション戦略賞

『メタバースから政策提言～若者がオンラインで繋がり、デジタル政策を推進する～』

NPO法人バーチャルライツ

| 会場発表 |

コミュニケーション戦略賞

『トレンド技術で「お役所仕事」を変える～AI・アバター・メタバースなどの最新技術による行政DX～』

東京都町田市

| 会場発表 |

『超高齢社会体験ゲーム「コミュニティコーピング」を活かした社会的処方の実現』

一般社団法人コレカラ・サポート

| オンライン発表 |

目安 14:30~

グッドアイデア賞

『地銀×行政が取り組んだ地域の若者の課題解決「御前崎市リターン就職応援プロジェクト」』

御前崎市

| 会場発表 |

グッドアイデア賞

『公民連携で子ども食堂の運営を支援！「子ども食堂DX実証実験」』

枚方市子ども未来部子ども青少年政策課

| 会場発表 |

グッドアイデア賞

『パズルピース型町内会活動』

唐湊山の手町内会会長 金子 陽飛

| 会場発表 |

グッドアイデア賞

『難病者の社会参加白書づくりを基礎に、制度の狭間に置かれた難病者の就労を通じた社会参加の流れを創り出します』

難病者の社会参加を考える研究会（運営元NPO法人両育わーど）

| オンライン発表 |

グッドアイデア賞

『交通事故の「見える化」でEBPMを促進 ~警察庁「交通事故統計情報のオープンデータ」を誰もが使えるBIツールで全国に公開~』

横須賀市議会議員 小林 伸行

| オンライン発表 |

目安 15:00~

成果賞

『「扶養照会」不要のケースが9割超の自治体で「生活保護のしおり」に記載なし。調査がきっかけとなり、全国で改善が加速。』

「生活保護のしおり」書きっぷり調査プロジェクト

| 会場発表 |

成果賞

『住民主体の認知症政策を実現する認知症条例の制定とプロセスの公開 ~認知症本人の参加とマルチステークホルダーの連携の実現~』

浦安市議会議員 齊藤 哲

| 会場発表 |

成果賞

『たった一人の大学生の想いが実現。陳情採択、そして新座市が「ゼロカーボンシティ宣言」表明』

俵 里奈

| 会場発表 |

成果賞

『【全国初】県と市町が共創する「チーム愛媛」のDX～高度デジタル人材のシェアリングと誰も取り残さないデジタルデ
バイド対策～』

愛媛県・市町DX推進会議

| オンライン発表 |

目安 15:30~

躍進賞

『宮田村むらづくり基本条例に立脚した宮田村議会の取り組み』

宮田村議会

| 会場発表 |

躍進賞

『形骸化した一部事務組合の改革』

浜田地区広域行政組合議会議長 牛尾 昭

| 会場発表 |

※ 終了後、会場にて名刺交換タイムを設けます。

※プログラムは現時点の予定です。時間、開催手法を含め予告なく変更になる場合があります。予めご了承ください。

11月10日 (木) 開催

10時から13時まで

目安 10:10~

ローカル・マニフェスト大賞<首長の部>

『市長の強いリーダーシップによる分権時代の自治体経営～マニフェスト選挙を起点とした計画の策定から4カ年の評価ま
で～』

小牧市長 山下 史守朗

| 会場発表 |

ローカル・マニフェスト大賞<首長の部>

『公会計改革が自治体経営のあり方を変える。独自の公会計システムの確立により、組織力強化、行財政改革を実践』

四日市市長 森 智広

| 会場発表 |

ローカル・マニフェスト大賞<首長の部>

『地域主義による新しい自治のカタチ (市民の力×地域の力×行政の力=∞:無限大) の確立に向けて』

熊本市長 大西 一史

| 会場発表※代理の可能性あり |

ローカル・マニフェスト大賞<首長の部>

『マニフェスト4段活用、持続可能なまちづくりへの挑戦 ～中長期的なPDCAサイクルの深化をめざして～』

亀山市長 櫻井 義之

| オンライン発表 |

目安 10:40~

ローカル・マニフェスト大賞<議員・会派の部>

『マニフェストを起点とした新たな市民との政策形成 ～DECIDIMの活用によるマニフェストサイクルの進化～』

よこはま自民党 (自由民主党横浜市支部連合会・横浜市会自由民主党・無所属の会)

| オンライン発表 |

ローカル・マニフェスト大賞<議員・会派の部>

『びわこ大津草津景観推進協議会・びわこ東海道景観協議会による景観基本計画の策定と東海道の魅力を発信する統一案内看板の創造』

大津市議会議員 谷 祐治

| 会場発表 |

ローカル・マニフェスト大賞<議員・会派の部>

『選挙を起点とした政策達成状況の検証とその数値化 マニフェストに基づく15年間の取り組み』

公明党荒川区議会議員団

| オンライン発表 |

ローカル・マニフェスト大賞<議員・会派の部>

『今年で11年目！改選毎に会派基本政策を策定&年に一度会派での議会活動報告会を開催。毎年、PDCAサイクルを回し続けています。』

福岡市民クラブ

| オンライン発表 |

目安 11:10~

ローカル・マニフェスト大賞<市民・団体の部>

『群馬県と共同で「始動人」育成のため、お笑い芸人の先生が主権者教育の授業を全高校で実施 県内の18歳投票率は8%以上アップ』

株式会社 笑下村塾

| 会場発表 |

ローカル・マニフェスト大賞<市民・団体の部>

『選挙ポスター掲示場 全国総ウェブ化プロジェクト (2022年参議院選挙)』

ユスケンラボ 西久保 祐輔

| 会場発表 |

ローカル・マニフェスト大賞<市民・団体の部>

『下宿大学生の投票用紙へのアクセス向上に向けた、不在者投票制度利用推進の試み』

下宿生でも投票できますプロジェクト

| 会場発表 |

ローカル・マニフェスト大賞<市民・団体の部>

『議会と市民の距離を近づけるコミュニティサイト「みんなで作る飯塚市」を開設』

飯塚シティズンシップ推進会

| 会場発表 |

目安 11:45~

議会改革賞

『議会改革・活性化事業への外部評価導入に向けて』

芽室町議会

| 会場発表 |

議会改革賞

『「議長マニフェスト」市民への約束 ～不断の議会改革に対する決意～』

奥州市議会

| 会場発表 |

議会改革賞

『体系的な議会政策サイクルと、ICT技術を活用した情報発信・交流で住民の声や災害に対応できる議会へ』

柴田町議会

| 会場発表 |

議会改革賞

『市民意見を起点とし「課題解決」につなげる政策サイクルのさらなる充実～通年議会の導入と議会活動評価モデルの取組～』

会津若松市議会

| 会場発表 |

議会改革賞

『多様性のある議会の実現へ』

登別市議会

| オンライン発表 |

目安 12:15~

ローカル・マニフェスト大賞<首長の部>

『「公共計画」としてのマニフェストのサイクル化』

大津町長 金田 英樹

| オンライン発表 |

ローカル・マニフェスト大賞<市民・団体の部>

『アニメ動画を用いた小学生段階からの主権者教育の実践とその効果検証』

弘前大学教育学部准教授 蒔田 純

| オンライン発表 |

『全議員が2以上の委員会に所属し議会活動を行いチーム議会で議会改革を推進』

菊川市議会
| 会場発表 |

『美咲町議会版SDGs「持続可能な議会」を目指した誰一人取り残さない挑戦』

美咲町議会
| 会場発表 |

『政治家に対するハラスメントの実態を啓発する「政治家ハラスメント白書」』

一般社団法人ポリライオン×WOMANSHIFT
| 会場発表 |

※ 終了後、会場にて名刺交換タイムを設けます。

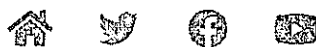
※ プログラムは現時点の予定です。時間、開催手法を含め予告なく変更になる場合があります。予めご了承ください。

チケット情報へ →

主催共催団体紹介

マニフェスト大賞実行委員会

議会・首長や地域主権を支える市民等の優れた活動を表彰し、それらが広く知られ互いに競うようにまちづくりを進める「善政競争」の輪を拡げるために設けられたアワードです。



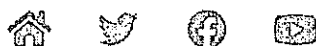
ローカル・マニフェスト推進連盟

真の地方分権確立のため、二元代表制における地方議会、地方議員、地方自治体の活性化、議会改革を進めてきた超党派の地方議員などで構成されている団体です。



早稲田大学マニフェスト研究所

マニフェスト、議会改革、選挙事務改革、人材マネジメント、シティズンシップ推進などの調査・研究により、ローカル・マニフェストによって地域から新しい民主主義を創造することを目的としています。



お問合せ

▼ お問合せフォーム